

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系		事業名	実施主体	事業概要	30年度事業内容(計画)	30年度事業内容(実績)	評価(1~5を選択してください)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業について原因及び今後の対策について	課名
1	I	I	男女共同参画センター学習	NPO法人たかまつ男女共同参画ネット(委託)	高松市男女共同参画センターにおいて、男女共同参画に関する各種セミナー・講座を開催する。	男女共同参画に対する理解を深めるため、男女共同参画センターにおいて、各種セミナー・講座を実施する。 学習研修事業(全53回) ・男女が共に活躍するまちづくり講座 ・参画出前セミナー ・人生100年時代のシニアライフ講座 など	男女共同参画に対する理解を深めるため、男女共同参画センターにおいて、各種セミナー・講座を実施した。 学習研修事業(全67回) ・男女が共に活躍するまちづくり講座 6回 ・参画出前セミナー 12回 ・人生100年時代のシニアライフ講座 2回 など	4	予定通り事業が実施され、多彩な内容のセミナー・講座を開催することができ、目標も達成できた。今後も、セミナー・講座の受講者の増加を図るための取組みを行い、更なる成果の向上につなげていきたい。		男女共同参画・協働推進課
2	I	I	男女共同参画週間事業	市	男女共同参画週間に合わせ、男女共同参画の啓発のための講演会・パネル展、弁護士による法律講座・相談等を実施する。	男女共同参画週間に合わせ、男女共同参画の推進にかかる講座や研修を行う。 男女共同参画啓発事業(6/23~29) ・講演会 ・弁護士相談 ・パネル展 ・啓発グッズの配布	男女共同参画週間に合わせ、男女共同参画の推進にかかる講座や研修を行った。 男女共同参画啓発事業(6/23~29) ・講演会 ・弁護士相談 ・パネル展 ・啓発グッズの配布	3	予定通り事業が実施されたが、参加者数等の目標が達成できなかった。講演会等、内容については、参加者には好評であり、今後周知等の取組みを強化することで成果の向上を図る。		男女共同参画・協働推進課
3	I	I	消費者教室	市、高松市消費者団体連絡協議会(共催)	新しい時代に対応できる自立した消費者の育成、意識高揚のため、金銭教育をテーマにした小学生対象の親子教室を開催する。	夏休み親子消費者教室の実施 7月下旬頃に1回開催予定 参加者は市内の小学生の親子40組	夏休み親子消費者教室の実施(7月25日) 参加者：市内の小学生の親子36組79人	4	事業実施時に行ったアンケート結果から、「とても楽しかった」「まあまあ楽しかった」が約82.9%と高く、「お金のことを考える良い機会になった」という感想も多かった。		くらし安全安心課
4	I	I	多重債務問題研修会	市、高松市消費者団体連絡協議会(共催)	多重債務問題の根本的な解決を目指し、多重債務の現状や解決方法についての研修会を開催する。	市民と市職員を対象にした「多重債務問題研修会」を1回開催	市民と市職員を対象に「多重債務問題研修会」を開催(9月28日) 参加者115人	4	事業実施時に行ったアンケート結果から、「大変よかったです」「まあまあよかったです」の合計が約76.1%だった。市民の一般参加は8人にとどまった。		くらし安全安心課
5	I	I	消費者ウイーク	市(消費生活パネル展は県との共催)	消費者の日(5月30日)を含む消費者ウイークに、各種啓発事業を実施する。	・暮らしをみなおす市民のつどいと同時開催 平成30年5月26日・27日 イオンモール高松1階シーコート ・消費者月間事業記念講演会 平成30年5月25日 市役所13階大会議室	・暮らしをみなおす市民のつどいと同時開催 平成30年5月26日・27日 イオンモール高松1階シーコート 入場者 約3,200人 ・消費者月間事業記念講演会 テーマ「～地域で見守りを～高齢者等の消費者被害を防ぐためにできること」 平成30年5月25日 市役所13階大会議室 54人受講	4	事業実施時に行ったアンケート結果から、「大変よかったです」「まあまあよかったです」の合計が約80.6%と高い満足度が得られている。		くらし安全安心課
6	I	I	暮らしをみなおす市民のつどい	高松市暮らしをみなおす市民のつどい運営委員会(共催)	高松市消費者団体連絡協議会との共催により、市民参加型の消費者の祭典として実施し、パネル展・活動発表・講座等を開催する。	「消費者ウイーク事業」と同時開催 平成30年5月26日・27日 イオンモール高松1階シーコート 消費者問題に関する啓発等を目的とした各種事業(パネル展・エコ工作ほか)	「消費者ウイーク事業」と同時開催 平成30年5月26日・27日 イオンモール高松1階シーコート 入場者 約3,200人 消費者問題に関する啓発等を目的とした各種事業(パネル展・エコ工作ほか)	4	事業実施時に行ったアンケート結果から、「大変よかったです」「まあまあよかったです」の合計が約80.6%と高い満足度が得られている。		くらし安全安心課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

No.	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	30年度事業内容(計画)	30年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してください)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業について原因及び今後の対策について	課名
	部	課	項目									
7	I	1	(1)	消費生活出前講座	市	消費生活を取り巻く社会経済情勢に対応し、消費者意識の高揚・消費生活に関する知識の普及のため、消費生活出前講座を実施する。	消費生活相談員を講師に、消費者被害未然防止・拡大防止を目的とした講座を、市内のコミュニティセンターなどで実施する。また、消費者団体連絡協議会にも「寸劇」コーナーを一緒に行う等により講座に参加してもらい、出前講座が各地域に広がるよう努める。	実施回数:8回(高齢福祉関係事業者・老人会等)	4	昨年度より実施回数が4回増えた。高齢者福祉関係事業者等を中心に申し込みがあり、消費者トラブルに遭いやすい高齢者に向けた啓発を行うことが出来た。		くらし安全安心課
8	I	1	(1)	犬猫の飼う前教室	市	動物愛護意識を高め、動物の適正な飼養について理解を深めるため、講習会を開催する。	犬猫をこれから飼いたい人を対象に、譲渡前講習(飼う前教室)を開催し、動物を取り巻く現状や、飼うに当たり関係する法令、適正飼育等を啓発する。	安易な飼養の抑制、終生飼養の徹底及び適正飼養を中心とした講習会を保健所で実施した。 実施回数:80回 受講人数:163人	5	前年度より受講人数が増加し、譲渡を通して命の大切さや適正飼養の普及啓発をすることができた。		生活衛生課
9	I	1	(1)	犬猫の飼い方教室	市	市民を対象に、犬や猫の基本的な飼い方・しつけ方、健康管理や飼養に関するルール・マナー、適正飼養管理と動物愛護等について講習会を開催する。	犬猫の飼い方相談会や、出前講座等を開催し、学びたい市民の要望に応えられるよう、受講しやすい環境を整える。	基本的な飼い方、しつけ方、健康管理、お悩み相談等について開催した。 実施回数:2回 受講人数:20人	5	普段聞けない悩み等を他の飼い主等と共有できることが受講者の満足度を高めた。		生活衛生課
10	I	1	(1)	ひきこもり等の支援事業	市	ひきこもり等の家族や当事者からの相談に対応し、県ひきこもり支援センターや関係機関と連携しながら支援を行う。	ひきこもり相談窓口(相談件数)150件 サポーター派遣案件 6件 派遣回数 30回 傾聴サロン利用 延130人	ひきこもり相談窓口(相談件数)88件 サポーター派遣案件 5件 派遣回数 26回 傾聴サロン利用 延123人	3	ひきこもり支援については、件数のみで評価できない事業である。相談のあったケースに対し、複数で検討し必要な支援につなげていくことで一定の成果はあったと判断した。		保健センター
11	I	1	(1) 5 (3)	高松テルサ文化教養・研修事業	市	勤労者の福祉の充実、勤労意欲の向上のため、高松テルサで、各種文化教養・スポーツ講座等を開催する。	勤労者の福祉の充実、勤労意欲の向上のため、高松テルサにおいて、パソコン講座、音楽教室、英会話教室などの各種文化教養講座を開催する。	・パソコン講座、うたごえコーラス等音楽コース、英会話教室など、多種多様な講座を開設した。 パソコン講座受講者数:394人 音楽コース受講者数:719人 その他講座・教室受講者数:907人	4	昨年度より受講総数は若干減少したが、幅広い年齢層が受講できるよう多種多様なメニューを用意し、2000人を超える受講を得たため。		産業振興課
12	I	1	(1)	就活応援・適職相談事業	市	就職活動や仕事探しの一助とするため、関係機関の協力を得て、就職に関する悩みや課題解決の支援を行う。	雇用情勢の買い手市場から売り手市場への変化により、市の支援も求職者支援から企業の人材確保支援に転換する必要があることなどから、本事業については、当面開催を見合わせる予定。	事業休止のため実績なし	(評価不可)	事業休止のため。		産業振興課
13	I	III	1 2 (1) (2)	成人式式典事業	市	新成人を対象に、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますための式典を開催する。	挙行日:平成31年1月13日(日) 挙行場所:サンポート高松 該当者数:4,164人(4月12日現在の市内住民登録者数)	挙行日:平成31年1月13日(日) 挙行場所:サンポート高松 該当者数:4,493人(うち市外申込者数:292人) 出席者数:2,516人	4	昨年度より出席者数は少なかったが、式典会場へ入場していない新成人も多く、来場者は多かったため。		生涯学習課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

No.	施策体系		事業名	実施主体	事業概要	30年度事業内容(計画)	30年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
	I	II									
14	I	1	知的障がい者青年教室	市	知的障がいのある青年が、集団活動を通して、人とふれあい社会人としての知識・技能を修得するとともに、市民ボランティアが知的障がい者への理解を深める機会として教室を開設する。	年間8回(5.6.7.9.10.11.1.3月)実施 受講生登録予定者数:45人 ボランティア登録予定者数:55人	年間6回(5.6.10.11.1.3月)実施 年間2回(7.9月)中止 受講生登録者数:39人 ボランティア登録者数:65人 ・ボランティアQ&A作成	4	受講生登録者数については、予定者数を下回ったが、ボランティア登録者数については、予定者数を大幅に上回ったため。 また、ボランティアQ&Aを作成し、新規ボランティアの活動環境整備に取り組むことができたため。		生涯学習課
	II	2									
15	I	1	生涯学習カレッジ事業	市	社会変化に対応した生活課題や環境問題など現代的課題をテーマにした講座や、高度で専門的な学習機会を提供する。	社会変化に対応した生活課題や環境問題など現代的課題をテーマにした講座や、高度で専門的な学習機会を提供し、講座参加人数10,000人を目指す。	【講座参加人数】8,429人	4	平成30年度は多目的ホールの天井の改修工事のため、7月から1月まで利用できなかったこともあり、講座参加人数が目標に達しなかった。		生涯学習センター
16	I	1	コミュニティセンター講座	市、コミュニティセンター	コミュニティセンター等で、現代的課題をテーマとする講座や、親子ふれあい学習、趣味・実技講座等を開催し、地域住民に学習機会を提供する。	コミュニティセンター等で、現代的課題をテーマとする講座や、親子ふれあい学習、趣味・実技講座等を開催し、地域住民に学習機会を提供する。平成30年度に講座回数を地域の実情に合わせ、回数設定が出来るように見直しを行い、講座参加人数90,000人を目指す。	【講座参加人数】87,789人	4	講座参加人数が目標に達しなかった。		生涯学習センター
	I	5									
17	I	1	高齢者教室	市、コミュニティセンター	コミュニティセンターで、高齢者が社会変化に対応する知識・能力を高め生活するために必要な学習機会を提供する。	コミュニティセンターで、高齢者が社会変化に対応する知識・能力を高め生活するために必要な学習機会を提供し、講座参加人数20,000人を目指す。	【講座参加人数】18,954人	4	講座参加人数が目標に達しなかった。		生涯学習センター
	I	5									
18	I	1	女性教室	市、コミュニティセンター	コミュニティセンターで、男女共同参画社会を目指し、女性としての資質・能力の向上を図るための学習機会を提供する。	コミュニティセンターで、男女共同参画社会を目指し、女性としての資質・能力の向上を図るための学習機会を提供し、講座参加人数12,500人を目指す。	【講座参加人数】10,583人	4	講座参加人数が目標に達しなかった。		生涯学習センター
	I	5									
19	I	1	本のソムリエ派遣事業	市	図書館司書(本のソムリエ)を派遣し、図書館の仕組みや便利な使い方、本の上手な探し方などを周知する。	図書館を知り、本に親しんでもらう企画として、本の専門知識を有する図書館司書(本のソムリエ)を10名以上の出席が可能な団体へ派遣し、市民の読書活動の推進を図る。また、チラシの配布、ホームページによる広報活動を行い、事業の周知を図る。	団体等からの要請に応じ、図書館司書(本のソムリエ)の派遣を5回実施した。	5	団体からの要請に応じて、要請のあった団体へ図書館司書(本のソムリエ)を派遣した。		中央図書館
	I	5									

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系		事業名	実施主体	事業概要	30年度事業内容(計画)	30年度事業内容(実績)	評価 (1～5を 選択してください)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業について原因及び今後の対策について	課名
20	I	1 (2)	人権・同和問題啓発活動事業	市、コミュニティセンター、高松市人権啓発推進協議会(26年度以降、人権尊重重都市たかまつ市民会議)	市民の人権意識の普及・高揚を図るため、啓発物品等の作成・配布及び人権フェスティバル、市民のつどい、ハンセン病を正しく理解する講演会等を開催する。	○人権啓発用パンフレット、啓発物品等の作成・配布 ○人権フェスティバルの開催 年1回 ○人権を守る市民のつどいの開催 年1回 ○ハンセン病を正しく理解するパネル・作品展 ○ハンセン病を正しく理解する講演会の開催 年1回 ○人権の花運動 小学校6校配置	○人権啓発用パンフレット、啓発物品等の作成・配布 ○人権フェスティバルの開催 年1回 ○人権フェスティバルの開催 年1回 ○人権を守る市民のつどいの開催 年1回 ○ハンセン病を正しく理解するパネル・作品展 ○ハンセン病を正しく理解する講演会の開催 年1回 ○人権の花運動 小学校6校配置	4	計画どおり事業を実施でき人権意識の普及・啓発に活かすことができた。		人権啓発課
21	I III	1 2 (1)	地域における人権啓発推進事業	市、地域コミュニティ協議会	各地域コミュニティ協議会で選任された人権啓発推進員が、生涯学習推進員と協力して、地域の生涯学習における人権に関する講座の企画・運営及び広報活動を実施する。	○人権啓発推進員研修会の開催 年2回 ○地域の「生涯学習事業」の中で実施されている人権に関する講座の企画・運営及び広報活動	○人権啓発推進員研修会の開催 年2回 ○地域の「生涯学習事業」の中で実施されている人権に関する講座の企画・運営及び広報活動 参加者数 延べ4,968人	4	30年度は一部のコミュニティ協議会で多くの参加があった文化祭で啓発事業が変更され、29年度より研修参加数が増えたが目標よりも少なかった。		人権啓発課
22	I	1 (2)	人権・同和問題指導者養成事業	市	人権を尊重する明るい職場づくりや人権に配慮したやさしい企業づくりを推進するため、市内の事業所の代表者や人権啓発等を担当する職員を対象に、指導者研修講座を開催する。	○人権・同和問題講座の開催 年3回 * 人権・同和問題指導者研修講座(人権啓発課:2日)及び高松市許可・登録業者人権研修講座(産業振興課:1日)事業を一本化し企業の利便性を図る。	参加企業400社 参加者数 延べ763人	4	参加者数が29年度より減っているが、参加企業は29年度とほぼ横ばいである。		人権啓発課
23	I	1 (2)	平和啓発推進事業	市	平和意識の啓発・普及のため、平和を語るつどい、映画展、空襲写真展、戦争遺品展、講演会等を開催する。	○平和を語るつどい、憲法記念平和映画祭、高松空襲写真展、高松市戦争遺品展、戦争・原爆被災展、昭和館巡回特別企画展、教職員のための平和教育講演会、収蔵品巡回展、非核宣言自治体協議会研修会の開催 ○平和記念だよりの発行	○平和を語るつどい、憲法記念平和映画祭(5月26日)、高松空襲写真展(6月29日～7月9日)、高松市戦争遺品展(7月19日～25日)、戦争・原爆被災展(8月2日～8日)、教職員のための平和教育講演会(12月26日)、収蔵品巡回展(2月20日～27日) ○平和記念だよりの発行(4回)	5	計画どおり事業を実施することができた。		人権啓発課
24	I	1 (2)	かがわ国際フェスタ	市	国際交流・協力活動への参加・理解の促進、市民と在住外国人の相互理解・交流を深めるため、「かがわ国際フェスタ」を開催する。	(公財)香川国際交流協会等との共催で、国際交流・国際協力に携わる県内の団体相互の連携強化や、市民の国際交流・協力活動への参加・理解の促進を図るとともに、市民と在住外国人との相互の理解・交流を深めるために事業を実施する。	(公財)香川県国際交流協会等との共催で、平成30年10月8日(月・祝)に香川国際交流会館(アイバル香川)を会場として「かがわ国際フェスタ2018」を開催した。約4,700人が様々なイベントに参加し、国際交流への理解を深めることができた。	4	目標を上回る参加者数で多くの市民が在住外国人などと触れ合い交流を深めることができた。		都市交流室
25	I	1 (2)	人権教育市民講座	市	コミュニティセンターで、地域住民を対象に、啓発資料や視聴覚教材を活用した人権教育市民講座を開催する。	52コミュニティセンターで開催する。	延べ33コミュニティセンターで開催し、延べ1,503人が参加	3	地域住民への人権教育推進が図られたが、講座未開催のコミュニティセンターがある。		人権教育課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	30年度事業内容(計画)	30年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してください)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業について 原因及び今後の対策 について	課名
26	I	1	(3)	瀬戸内国際芸術祭推進事業	瀬戸内国際芸術祭実行委員会(補助)	文化芸術の振興と瀬戸内の活性化・地域振興、世界への情報発信のため、3年毎に国際的な芸術祭として「瀬戸内国際芸術祭」を開催する。	ART SETOUCHI 2018の開催と、瀬戸内国際芸術祭2019開催に向けた準備を行う。	瀬戸内国際芸術祭2019開催に向け、県や関係市町と連携して準備を進めるとともに、ART SETOUCHI 2018として、女木島、男木島、大島、高松港周辺に設置する継続作品の公開や、イベントを開催した。 ・島間交流事業2回(参加者計32名) ・『瀬戸内国際芸術祭2019「県内連携事業」』の募集 ・主なイベント 「SETOUCHI ART BOOK FAIR」 「切腹ピストルズ『瀬戸内御免』」 「女木島名画座上映会」 「MEGI HOUSE イベント」 「大島 島とつながる交歓会」 「安藤忠雄 講演会『芸術の力』」	4	県や関係市町と連携して芸術祭2016の継続作品を有効活用し、公開するとともに、各種イベントやアーティストによるワークショップを開催し、年間を通じた地域の活性化に努めた。		文化芸術振興課
27	I	1	(3)	市民文化祭	高松市市民文化祭アートフェスタたかまつ事業運営委員会(補助)	市民企画提案型事業「アートフェスタたかまつ」と、各地区の特性を生かした地区文化祭の開催を支援する。	平成30年5月26日(土)から7月1日(日)の期間で、アートフェスタ2018を開催。企画は、オープニングセレモニー、オープニング事業、主催事業15事業、後援事業1事業を予定している。	開催団体:オープニング事業1団体、主催事業15団体、後援事業1団体 鑑賞者数:9,066人	4	参加団体については前年度より2団体減少となったが、鑑賞者数は増加。今後も引き続き広報活動を積極的に行い、鑑賞者数の増加に努める。		文化芸術振興課
28	I	1	(3)	デリバリーアート事業	市	普段の生活の中で身近で気軽に文化芸術に親しむ機会づくりとして、市民の希望により出前公演を実施する。	平成30年8月から12月までの開催期間で募集を行う。公演は、アンサンブル演奏、和太鼓、サーカスキャラバン、あやつり人形劇、落語、金管五重奏、尺八コンサートと、初めての開催となるフルート/ピアノデュオの8メニューを予定している。瀬戸・高松広域連帯中核都市圏の取組事業として、圏域内のさぬき市、東かがわ市、綾川町に参加団体の募集を行っている。	開催回数:全17回(内さぬき市、東かがわ市各1回) 鑑賞者数:2,240人	5	前年度よりも鑑賞者が190人増加したうえ、開催した団体からも好評であり、再度実施したいという要望が多く、満足度が高いといえるため。		文化芸術振興課
29	I	1	(3)	文化芸術ホール自主事業	公益財団法人高松市文化芸術財団(補助)	文化芸術ホールにおいて、文化芸術の振興・普及のため、コンサート等各種事業を開催する。	主催(補助)事業10事業、主催(独自)事業4事業、共催(補助)事業3事業を計画。	主催(補助)事業10事業、主催(独自)事業4事業、共催(補助)事業4事業を実施	5	計画通りに実施しており、NHK全国放送「のど自慢」公開生中継の開催等により、鑑賞者数も増加したため。		文化芸術振興課
30	I	1	(3)	まちなかパフォーマンス事業	MUSIC BLUE TAKAMATSU実行委員会(委託)	芸術文化への関心を高め、中心市街地のにぎわいを創出するため、サンポート高松・丸亀町商店街などで、アートに関連した各種イベント等を実施する。	・TAKAMATSU MUSIC BLUE FES 2018 ・街クランシクin高松 ・高松フラストリート ・サンポートオータムジャム ・大道芸フェスタ 上記5事業を開催する。	・TAKAMATSU MUSIC BLUE FES 2018 ・街クランシクin高松 ・高松フラストリート ・サンポートオータムジャム ・たかまつ大道芸フェスタ 上記5事業を実施	5	4事業で鑑賞者数が前年を上回ったため。		文化芸術振興課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	30年度事業内容(計画)	30年度事業内容(実績)	評価 (1～5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
31	I	1	(3)	美術館催し物事業	市	特別展会期中に館内エントランスホール等で県内若手演奏家によるミニコンサート等を開催する。	・開館30周年記念コンサート、特別展関連ミニコンサート実施予定。	開館30周年記念コンサート 2回 特別展関連ミニコンサート 5回 計7回 参加者数1,067人	5	設定した目標値に達し、十分成果が上がっているため。		美術館美術課
32	I	1 I 4	(3) (1)	ふるさと探訪事業	市(高松市歴史民俗協会、(H26～)高松市文化財保護協会と共催)	市内・近郊各所の文化財に触れ、郷土の歴史・文化の学習ができるよう、年間10回「ふるさと探訪」を開催する。	ふるさと探訪を年間10回開催する 市内・・・飯田町(岩田神社ほか)、木太町(白山神社古墳ほか)など8箇所 市外・・・さぬき市大川町(富田茶臼山古墳ほか)、坂出市(塩釜神社ほか)など2箇所	ふるさと探訪を年間10回開催した。 市内・・・飯田町(岩田神社ほか)、木太町(白山神社古墳ほか)など8箇所 市外・・・さぬき市大川町(富田茶臼山古墳ほか)、坂出市(塩釜神社ほか)など2箇所	5	SNS等も利用した広報などの効果もあり、昨年度と比較し、134名も多くの方に御参加いただき、目標の参加者1,000人を達成することができた。		文化財課
33	I	1 I 4	(3) (3)	親子文化財教室	市(高松市文化財保護協会共催)	市内の小学生と保護者を対象に、年2回、郷土の歴史・文化財を学習し、文化財を身近に学ぶ機会を提供する。	①水車の仕組みを学ぼう！～高原水車～(六条町) ②菓子木型を使って讃岐伝統の菓子を作ろう！	①水車の仕組みを学ぼう！～高原水車～(六条町) ②菓子木型を使って讃岐伝統の菓子を作ろう！ 参加者:55人	4	キャンセル待ちが発生するほどの盛況ぶりであったが、会場の大きさ等の関係で、参加人数に限られた。大勢が参加できるように講座であれば開催場所を工夫していきたい。		文化財課
34	I	1	(3)	石の民俗資料館友の会コンサート	市、石の民俗資料館友の会	地域文化の向上を目指し、石の民俗資料館友の会が、年5回程度、クラシック音楽等コンサートを開催する。	H30年度5回開催予定 「海のpromナード」(5/19) 「ソプラリサイタル(仮称)」(7/21) 「ソプラリサイタル(仮称)」(10/27) 「マリンバコンサート(仮称)」(12/15) 「ヴァイオリンコンサート(仮称)」(3/16)	H30年度6回開催 「海のpromナード」(5/19) 「渡辺理香ソプラリサイタル」(7/21) 「SWJ〇ジャズライブコンサート」(10/14) 「水嶋音ソプラリサイタル」(10/27) 「冬の夜に聴く木の響き」(12/15) 「和田絵里子ヴァイオリンリサイタル」(3/9)	5	毎年多くの来館者があり、石の民俗資料館の人気行事(単礼地区のコンサート)として定着している。		文化財課 (石の民俗資料館)
35	I	1	(4)	スポーツ教室	公益財団法人高松市スポーツ協会	市民の健康増進と体力向上を図るため、各スポーツ施設の特徴を活かした各種スポーツ教室を開催する。	市民の健康増進と体力向上を図るため、136教室を実施し、延べ92,879人の参加を予定。	153教室 58,518人	4	目標には届かなかったが、実施教室数が増え、参加者も増加した。		スポーツ振興課
36	I	1	(4)	市民スポーツフェスティバル	高松市市民スポーツフェスティバル実行委員会	市民のスポーツ・レクリエーションに触れる機会として、トリムの祭典を実施する。	トリムの祭典を実施する。 なお、小学校区対抗競技及び水泳競技大会は開催せず、これに替わる健康・体力づくりを主眼とした事業について、30年度中に見直し検討委員会において、構築していく予定である。	参加者数 6,000人	3	参加者数については、当日の天候に左右されるものの、イベント内容の充実及び広く告知に努め、昨年度と同程度の参加者があった。		スポーツ振興課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

No.	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	30年度事業内容(計画)	30年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
	部	課	項目									
37	I	1	(4)	高松スポーツカーニバル	公益財団法人高松市スポーツ協会	広く市民にスポーツ活動への参加を促し、健康増進と体力向上、スポーツ施設への利用促進を図る。	仏生山公園等で歩く、踏む、走る、泳ぐ、投げる、体験するをコンセプトに実施する。	参加者数8,590人	4	参加者数については、当日の天候やゲストの人気等により左右されるものの、イベント内容の充実と努めた結果、総じて前年を大幅に上回る参加があったため。		スポーツ振興課
38	I III	1 1	(4) (1)	市民登山学校	市民登山学校	健康維持、自然保護の啓発、登山知識・技術を習熟するため。講座を実技を開催する。	月1回の講座と実技を実施する。	延べ参加者数1,120人	5	生徒募集において、これまで以上に各種広報媒体を活用し、広く市民に周知したことにより、前年を大幅に上回る参加となったため。		スポーツ振興課
39	I I	2 2	(1) (3)	地域子育て支援拠点事業	市(委託、直営)	乳幼児及び保護者が相互交流する場を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言など支援を行う。	私立保育所及び認定こども園に委託(旧センター型) 19か所 週6~7日開設 8,364千円×1か所 週5日開設 7,842千円×17か所 小規模型 2,740千円×1か所 (利用者支援事業5日型 7,113千円×1か所)	私立保育所及び認定こども園に委託(旧センター型) 17か所 週6~7日開設 8,364千円×1か所 週5日開設 7,842千円×15か所 小規模型 2,740千円×1か所 (利用者支援事業5日型 7,113千円×1か所)	4	事業を実施した箇所数が設定した数値に達しなかったため		こども園総務課
40	I I	2 2	(1) (3)	地域子育て支援拠点事業	市(委託、直営)	乳幼児及び保護者が相互交流する場を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言など支援を行う。	NPO法人等に委託(旧ひろげ型) 9か所 委託料 7,842千円×6か所 8,364千円×1か所(週6日) 9,778千円×1か所(週6日・出張ひろげ) 9,256千円×1か所(出張ひろげ) 直営 1か所(小規模型、経過措置) 香川地域保健活動センター内 2,685千円 直営 1か所(旧センター型) はらこども園内 6,084千円 小児科医院に委託(旧センター型) 7,842千円×1か所 子ども・子育て支援交付金事業	12か所で実施 ○委託…10か所 ・NPO等 9か所 ・小児科 1か所 ○直営…2か所 (子ども・子育て支援交付金事業)	5	子育て親子の交流の場を提供し、不安解消や情報交換に大いに貢献している事業である。		子育て支援課
41	I I	2 2	(1) (3)	地域子育て推進事業	市(委託、直営)	子育て家庭の不安を軽減するため、保育所等を地域に開放し、育児相談や子育てサークル支援等を行う。	私立保育所及び認定こども園 17か所(委託料500千円/か所)	私立保育所及び認定こども園 17か所(委託料500千円/か所)	5	事業を実施した箇所数が設定した数値に達したため		こども園総務課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	30年度事業内容(計画)	30年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
42	I	2	(1)	地域子育て推進事業	市(委託、直営)	子育て家庭の不安を軽減するため、保育所等を地域に開放し、育児相談や子育てサークル支援等を行う。	市立保育所 20か所 市こども園 6か所 合計26か所で開催	市立保育所 20か所 市こども園 6か所 合計26か所で開催	5	当初の予定どおり事業を実施することができた。		こども園運営課
43	I	2	(1)	はじめてのパパママ教室	市	はじめての出産を迎える夫婦を対象に、妊娠中の生活や出産・育児について講義と実習を行う。	日曜コース(12回) 平日コース(4回) 地区コース(12回) 計28回実施。 地区コースの回数を増やすことで、参加希望者を受け入れやすい体制とする。さらなる父親の育児参加の促進を進める。	日曜コース(12回) 平日コース(4回) 地区コース(12回) 計28回実施。 地区コースの回数を増やすことで、参加希望者を受け入れやすい体制をとった。	4	前年度より4回実施回数を増やしたことで、参加希望者を受け入れることができた。 父親中心に体験してもらう内容も、好評である。		保健センター
44	I	2	(1)	子育て力向上応援講座	市	就学時健康診断等の機会を活用し、就学前児童の保護者を対象に、家庭教育の専門家等による講座を開催する。	市立小学校(就学時健康診断):47講座 市立小学校(入学説明会他):47講座 市立幼稚園・こども園:29講座 市立保育所:20講座 私立幼稚園:5講座 教育フォーラム:1講座	市立小学校(就学時健康診断):47講座 市立小学校(入学説明会他):47講座 市立幼稚園・こども園:27講座 市立保育所:1講座 私立幼稚園:3講座 教育フォーラム:1講座	4	計画時より開催数が少なかったが、H29年度と同数程度の実施が所数であったため。		生涯学習課
45	I	2	(1)	家庭教育講演会	市	次代を担う子どもたちの健全育成、家庭教育力の向上のため、保護者を対象に専門講師による講演会を開催する。	日にち:平成30年10月20日(土) 場所:総合教育センター 講師:岡田 倫代氏 演題:「心の声ちゃんと届いていますか〜思春期の心の揺れと接し方〜」	日にち:平成30年10月20日(土) 場所:総合教育センター 講師:岡田 倫代氏 演題:「心の声ちゃんと届いていますか〜思春期の心の揺れと接し方〜」 参加者数:115人	5	予定どおり実施できたため。 また、参加者へのアンケート結果では、参加者の99%が「よかった」と回答しており、非常に満足度の高い講演会となったため。		生涯学習課
46	I	2	(1)	家庭教育情報テレビ事業	市	7月の家庭教育月間に高松ケーブルテレビ「ホットライン高松」において、家庭教育・子育てに関する情報を放映する。	放送期間:平成30年8月1日(水)〜8月31日(金) 講師:国方 久美子氏 テーマ:「正しい家庭教育 〜自己肯定感を育めば、子どもは必ずいい子に育つ〜」	放送期間:平成30年8月1日〜31日 講師:国方 久美子氏 テーマ:「正しい家庭教育 〜自己肯定感を育めば、子どもは必ずいい子に育つ〜」	5	予定通り実施できたため。		生涯学習課
47	I	2	(1)	家庭教育学級	市	家庭における子育てなどの諸問題や家族の役割等についての学習機会を確保することにより家庭教育力の向上を図る。	家庭における子育てなどの諸問題や家族の役割等についての学習機会を確保することにより家庭教育力の向上を図る。開設学級を小学校区に変更したことにより、市立幼保小以外の参加を促し講座参加人数15,000人を目指す。	【講座参加人数】11,805人	3	講座参加人数が目標に達しなかった。		生涯学習センター
48	I	2	(1)	ブックスタート事業	市	4か月児相談の機会を活用し、絵本バックの贈呈、その利用方法と効用を説明し、楽しい子育て、読書への動機付けを図る。	保健センターと連携を図るとともに、ボランティアの協力を得て、保健センターほか各地域コミュニティセンター等で実施している4か月児相談時に絵本バックを贈呈し、その利用方法と効用の説明を行うことにより、保護者等の楽しい子育て参加を促し、読書への動機付けを図る。	4か月児相談時に、絵本バックを贈呈し、ボランティアの協力により、読み聞かせ等を行った。 また、4か月児相談に参加していない世帯には、保健師が家庭訪問時に絵本バックを贈呈し、計3,286名に絵本バックを贈呈した。	5	配布実績は約96%と高い実施率を確保しており、着実な成果として表れている。ほぼ全ての対象者に、絵本バックを贈呈できているため		中央図書館

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

No.	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	30年度事業内容(計画)	30年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業について原因及び今後の対策について	課名
	部	課	事業									
49	I	2	(2)	保育所・幼稚園への出前食育事業	市	保育所・幼稚園等において、子どもたちや保護者に講話やエプロンシアター・紙芝居等を実施し、幼児期からの正しい食習慣づくりを支援する。	15か所で実施	市立保育所 15か所 市こども園 3か所 市立幼稚園 4か所 合計22か所で実施	5	当初の予定どおり事業を実施することができた。		こども園運営課
50	I	2	(2)	フードスタート運動	市	授乳期・離乳期及び幼児期における健康教育事業等の中で、「食」についての講話や関係資料の配付を行う。	引き続き、授乳期・離乳期及び幼児期における健康教育事業等の中で、朝食や共食の大切さ等について周知・啓発を行う。	授乳期・離乳期及び幼児期における健康教育事業の中で「食」についての講話や関係資料の配付を行った。215回、3,398人(4か月児相談のみ)	4	授乳期・離乳期及び幼児期からの食習慣は重要であり、今後、更に効果的な啓発方法を検討していく必要がある。		保健センター
51	I	2	(2)	早寝早起き朝ごはん運動普及啓発事業	市	子どもの基本的な生活習慣の定着を図るため、就学時健康診断等の機会を活用し、啓発チラシの配布・説明等を行う。	・生活リズムチェック事業(小・中学校)を実施 ・食育フェスタ、学校給食展での啓発コーナーの設置 ・子育て力向上応援講座での啓発活動	・生活リズムチェック事業(小・中学校)を実施 ・食育フェスタ、学校給食展での啓発コーナーの設置 ・子育て力向上応援講座での啓発活動	4	生活リズムチェックシートの調査結果によると、朝ごはん摂取率及び起床時間の達成率は、前年度と同様に高かったが、就寝時刻の達成率がやや低かったため		生涯学習課
52	I IV	2 1	(3) (3)	消費生活相談事業	市	市民からの消費生活全般の苦情や問合せに対応し、問題解決のための支援を行う。	消費生活相談員4名体制で相談事業実施	相談件数:2,733件	5	相談件数は29年度より136件減少し、高い問題解決率を保っている。		くらし安全安心課
53	I	2	(3)	子育て相談事業	市	子育てに関する多種多様な相談に、専門の相談員が指導・助言・情報提供などを行う。	児童福祉に見識を持つ職員が、子育てに不安を持つ保護者の相談に対し、助言や情報提供を行う。	児童福祉に見識を持つ職員が、子育てに不安を持つ保護者の相談に対し、助言や情報提供を行う。 H30相談件数 223件	4	年々相談件数が増加しており、状況に応じた対応ができた。		こども女性相談課
54	I	2	(3)	乳幼児相談・育児相談事業	市	保健師や栄養士が乳幼児の成長発達を確認し、栄養・育児等の知識や子育て情報の提供などを行う。	保健師・栄養士が相談事業を実施し成長発達を確認し、栄養や育児等の知識や子育て情報の提供などを行っている。	保健師・栄養士が相談事業を実施し成長発達を確認し、栄養や育児等の知識や子育て情報の提供などを行った。	4	各種相談事業を通じ、また、相談があることに保健師・栄養士が対応している。相談事業はすぐに定員に達するなど、ニーズが高いものが多い。		保健センター

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	30年度事業内容(計画)	30年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してください)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業について原因及び今後の対策について	題名
	I	II	III									
55	I	2	(3)	「いじめ110番」電話相談事業	市	いじめ問題の早期発見・対応に生かすため、いじめ110番を設置し、児童・生徒、保護者等からの相談に対応する。	二名の専門スタッフによる相談体制を引き続き継続し、平日8時30分より19時まで対応する。必要に応じて、学校教育課、学校と連携し問題解決に当たる。	2名の専門スタッフにより、年間38件の相談電話を受けた。各事業に対しては、学校教育課、学校と連携し迅速に対応したこと、各校で早めの対応を行うことができた。	4	相談を受けた事案について、重大事態に進展した事例がなく、ほとんどの事案が終息に向いている。		総合教育センター
56	I	2	(3)	子どもスマイルテレホン事業	市	家庭問題・不登校・非行やいじめ等、子どもに関する悩みの相談窓口として「子どもスマイルテレホン」を開設する。	相談件数 58件	相談件数 69件	5	相談者それぞれの悩みについて、相談窓口としての対応ができた。		少年育成センター
57	I	2	(3)	不登校等に関するカウンセラーによる教育相談事業	市(委託、直営)	適応指導教室の児童生徒をはじめ、不登校および不登校傾向の児童生徒やその保護者に対して、継続的な相談活動を行う。	カウンセラーを2名配置し、総合教育センターと適応指導教室「香川町みなみ」にて教育相談を行う。また、通室支援検討会、事例検討会にスーパーバイザーとして参加する。さらに、学校からの要請に応じて訪問支援を行う。	カウンセラー2名で延べ138名の教育相談を実施した。また、年間12回の事例検討会、11回の親の会、その他通室支援検討会にスーパーバイザーとして指導助言を行った。	4	教育相談は継続的に利用する割合が多く、利用者の満足度は高い。親の会の内、2回は夜会としたことで、参加者のニーズに応えることができた。		総合教育センター
58	I III	3 2	(1) (2)	年長児童の赤ちゃん・出会い・ふれあい事業	市	次代の親づくりとして、命の大切さや家庭の役割等について理解を深めるため、年長児童が乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を開設する。	中学生(13校)を対象に、乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、赤ちゃんとのかかわり方などの学習及び抱き方、遊び方などの体験学習を行う。 実施団体:9団体	中学生を対象に、乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、赤ちゃんとのかかわり方などの学習及び抱き方、遊び方などの体験学習を行った。 実施校数:11団体	4	毎年実施希望中学校が増えているが、さらなる実施校数・団体数増が望ましい。子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりへの貢献度は大きく、次代の親づくりを推進するとともに少子化対策にも効果的な事業である。		子育て支援課
59	I	3	(1)	保育所・幼稚園等への芸術士派遣事業	市(委託)	子どもの感性や創造力を育むため、保育所・幼稚園等に芸術士を派遣し、日々の保育の中で、絵画や造形、音楽など様々な表現活動を行う。	子どもの感性や創造力を育むため、保育所・幼稚園等に芸術士を派遣し、日々の保育の中で、絵画や造形、音楽など様々な表現活動を行う。 保育所・子ども園 33か所 幼稚園 10か所	保育所・子ども園 33か所 幼稚園 10か所	5	当初の予定どおり事業を実施することができた。		子ども園運営課
60	I	3	(1)	学校巡回芸術・能楽教室	公益財団法人高松市文化芸術財団(委託)	市内の小中学生を対象に、生の芸術鑑賞・体験の機会として、日舞・洋楽、古典芸能等を巡回公演する。	平成30年度においては、芸術教室は、民謡、バレエ、音楽、オーケストラ、落語等の鑑賞の機会を提供する。能楽教室においては能楽、囃子、狂言の3項目を実施する。	芸術教室:20校 9,147人 能楽教室:6校 2,650人 全 26校 11,797人が鑑賞	5	開催校、鑑賞者数ともに前年より増加したことに加え、子どもたちの感想や反応が良く、実施したすべての学校が、今後実施したいとの回答であったため。		文化芸術振興課
61	I	3	(1)	ものづくりふれあい教室	高松市生活文化協会(委託)	市内の小中学生を対象に、手作りでのづくりにチャレンジする機会を提供し、もの大切さを体験する。	洋裁、和裁の2コース、6メニューで実施する。 【洋裁コース】 コサージュ、かわいい小物入れ、クリスマススコット 【和裁コース】 かわいい金魚、お手玉、ハンカチも入るティッシュ入れ	全15校、16授業を実施	4	毎年継続して開催を希望する学校が多いことに加え、できあがった作品が学校行事等に活用されることもあり、児童生徒にとって、もの大切さをより実感できる機会を提供できているといえるため。		文化芸術振興課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	30年度事業内容(計画)	30年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してください)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業について原因及び今後の対策について	課名
62	I	3	(1)	美術館学習	市	子どもたちが豊かな感性と未来の鑑賞者としての資質を育むため、美術館での鑑賞・施設学習を実施する。	各学校にチラシ配布用によりPRし、より多くの参加を促す。	参加校44校 参加者数1,805人	4	設定した目標値に達しなかったが、29年度より参加者数が増加したため。		美術館美術課
63	I	3	(1) (3)	総合的な学習の時間活性化推進事業	総合的な学習の時間活性化推進事業実施校(補助)	総合的な学習の時間の活性化を図るため、地域社会の人材活用や児童生徒の体験活動の充実を図る。	総合的な学習の時間の活性化を図るために、地域の人材を積極的に活用し、児童生徒の体験活動の充実を図る。	総合的な学習の時間の活性化を図るために、地域の人材を積極的に活用し、児童生徒の体験活動の充実を図った。	4	小学校47校(全47校)、中学校20校(全23校)で外部人材の活用があった。		学校教育課
64	I	3	(1)	子ども環境学習交流事業	市	ごみ処理・廃棄物再生利用施設の見学やリサイクル体験を通じた実証的な環境教育のほか、小中学校の環境学習の取組みを発表するなど学習交流の活性化を図る。	ごみ処理・廃棄物再生利用施設の見学やリサイクル体験を通じた実証的な環境教育のほか、小中学校の環境学習の取組みを発表するなど学習交流の活性化を図る。	ごみ処理・廃棄物再生利用施設の見学やリサイクル体験を通じた実証的な環境教育のほか、小中学校の環境学習の取組みを発表するなど学習交流の活性化を図った。	4	小学校24校(全47校)より児童211名が参加し、環境に対する意識を高めることができた。		学校教育課
65	I	3	(1)	水資源教育推進事業	市(県補助)	中学生を対象に、香川用水・水資源の重要性についての理解を深めるため、「香川用水の水源地の旅」を実施する。	中学生を対象に、香川用水・水資源の重要性についての理解を深めるため、「香川用水の水源地の旅」を実施する。	中学生を対象に、香川用水・水資源の重要性についての理解を深めるため、「香川用水の水源地の旅」を実施した。	4	中学校23校(全23校)より生徒2016名が参加し、水資源への認識を深めることができた。		学校教育課
66	I	3	(1)	職場体験学習	小中学校	児童生徒の実態や発達段階に応じて、社会体験・職場体験活動等を通して、望ましい勤労観・職業観を育む。	児童生徒の実態や発達段階に応じた社会体験・職場体験活動等を通して、望ましい勤労観・職業観を育む。	児童生徒の実態や発達段階に応じた社会体験・職場体験活動等を通して、望ましい勤労観・職業観を育んだ。	5	中学校全23校で職場見学を含む社会体験・職場体験学習が実施された。		学校教育課
67	I	3	(1)	学校教育における食育推進事業	市	学校給食を中心とした食育の取組みを紹介するとともに、食の現状や課題への理解を深め、食の大切さを伝えるために、「食育セミナー」を開催する。	高松市朝日新町学校給食センターで、年4回(7月、8月、11月、12月)実施予定。	高松市朝日新町学校給食センターで年4回(7月、8月、11月、12月)実施。 7月 朝日センター見学会 16組34人 8月 子ども料理教室 14人 11月 収穫体験 13組29人 12月 親子料理教室 6組15人	5	調理場見学会や料理教室等の食育セミナーを通して、学校給食や食への関心を高め、食生活を見直す機会を提供することができた。 昨年度、募集方法の検討が課題のものもあったが、夏休み親子探検隊リープレットの活用等により、抽選が必要となるほど応募があった。		保健体育課
68	I	3	(1)	サンクリスタル学習	市	主に小学校6年生を対象に、歴史資料館・菊池寛記念館・図書館での体験学習「サンクリスタル学習」を実施する。	主に小学校6年生を対象に、歴史資料館・菊池寛記念館・図書館での体験学習「サンクリスタル学習」を実施する。	サンクリスタル学習の実施 期間:6月~3月 参加校:31校(歴史資料館校外学習1校含む。) 参加者:2,341人(歴史資料館校外学習38人含む。)	4	歴史資料館・菊池寛記念館・中央図書館の3館合同学習として、毎年30校以上が参加する本市施設の体験学習、歴史教育として定着しており、前年度と比べ参加校は減少したが、歴史資料館校外学習を含め31校の参加があった。		文化財課 (歴史資料館 菊池寛記念館 中央図書館)

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	30年度事業内容(計画)	30年度事業内容(実績)	評価(1~5を選択してください)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業について原因及び今後の対策について	課名
69	I	3	(1)	伝統的ものづくり学校巡回教室	市(伝統的ものづくり関係事業者へ体験教室の委託)	高松市の伝統的ものづくりに関する理解と関心を深める普及啓発、人づくりの推進を目的とし、地域の伝統的ものづくりにふれあい、学ぶ体験の場であると同時に、未来を担う小中学生のシビックプライドの醸成・職業選択につながるもの、場を創出する。	伝統的ものづくりを行う職人を市内の小中学校へ派遣し、生徒が職人(香川漆器・庵治石・盆栽)の話を開いたり、実際に作品を見たり触れたりする場を提供する。訪問予定校 約3校 生徒数 450名	伝統的ものづくりを行う職人を市内の小中学校へ派遣し、生徒が職人(香川漆器・庵治石・盆栽)の話を開いたり、実際に作品を見たり簡単な体験をししたりする場を提供した。訪問校 3校 生徒数 299名	3	当初予定通り3校の小中学校にて学校巡回教室を開催。地域の伝統的ものづくりにふれあい、学ぶ場を提供するとともに、自分の住んでいる都市に対する「誇りや「愛着心」の醸成に寄与することができたと考えられるため。		産業振興課
70	I	3	(1)	こども未来館学習	市	こども未来館学習は、こども未来館の施設を利用した体験的な学習活動を通して、子どもたちの想像力と探究心を育むことで、健やかな成長に資することを目的に実施する。	・こども未来館学習の実施	・こども未来館学習・・・61校実施(瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の小中学校8校、市内中学校6校含む。)	5	設定した目標が達成されている。		こども未来館
71	I	3 I 1	(2) (2)	みんなで人権を考える会	市、人権尊重都市たかまつ市民会議(共催)	人権意識の普及・高揚を図るため、幼児児童生徒・保護者・社会教育団体等による人形劇・合唱の発表などを行う「みんなで人権を考える会」を開催する。	「みんなで人権を考える会2018」をサンポート高松 大ホールで開催する。	平成30年7月22日「みんなで人権を考える会2018」をサンポートホール高松 大ホールで開催し、666人の参加者があった。	5	666人の参加があり、目標値の600人を上回った。		人権教育課
72	I	3	(2)	人権教育研修	市	様々な人権問題の解決を図るため、幼稚園・小中学校ごとにPTAを対象とした人権・同和教育に関する講演会等を開催する。	6市こども園・23市立幼稚園・46小学校・23中学校・1高等学校で開催。	6市こども園、23市立幼稚園、47小学校、23中学校、1高等学校で開催し、延べ24,283人の参加があった。	4	市立のこども園、幼稚園、小・中学校、高等学校の全てにおいて開催できた。		人権教育課
73	I	3	(3)	消費生活教育出前講座	市	新しい時代に対応できる自立した消費者の育成・意識高揚のため、金銭教育の一環として、買い物テーマとした小学生高学年対象の出前講座を実施する。	新しい時代に対応できる自立した消費者の育成・意識高揚のため、金銭教育の一環として、買い物テーマにした小学高学年対象の出前講座を実施する。	実施回数:15回	4	事業実施後の感想文等から理解度や満足度が高かったことが確認されたが、実施回数は、29年度より5回増加した。		くらし安全安心課
74	I I III	3 4 1	(3) (3) (3)	放課後子ども教室	市	放課後や週末等に小学校の余剰教室等を活用して、地域の人々の参画のもと、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する。	新たに4校区での開設を目指し、38校区で実施する。	放課後子ども教室を、33校区において実施した。31年度から新たに1校区開室となる。	4	平成23年度から開始し、毎年事業内容の拡充が続いている。子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりへの貢献度は大きく、次代の親づくりを促進するとともに少子化対策にも効果的な事業である。		子育て支援課
75	I I	3 2	(3) (3)	地域に開かれた幼稚園づくり推進事業	市	幼稚園を地域に開放し、園庭開放や園児と未就園児親子の交流活動、子育て情報提供・相談等を実施する。	市立幼稚園 23か所 市こども園 1か所 合計 24か所で実施	市立幼稚園 23か所 市こども園 6園(こども園子育て支援の一環) 合計 30か所で実施	5	当初の予定どおり事業を実施することができた。		こども園運営課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	30年度事業内容(計画)	30年度 事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
76	I	3	(3)	子ども動物愛護教室	市	子どもの頃から動物の正しい飼い方・接し方を身につけるため、夏休み中に小学生を対象に、動物とのふれあいを通した学習教室を開催する。	夏休みに親子で参加する動物愛護教室を開催し、動物との正しい飼い方や接し方など、体験型学習教室を開催する。	夏休みの自由研究のテーマとしてとりあげられるよう、親子動物愛護教室を開催し、動物のふれあいを通して動物との適切な関わり方、適正飼養を啓発した。 実施回数:4回 受講人数:82人	5	親子で動物愛護を学んでもらうことで、大人も啓発することができ、子供も真剣に学ぶ姿勢がみられた。実際に動物に触れることで命の大切さを伝えることができた。		生活衛生課
77	I	3	(3)	学校体育施設開放事業	市	市内全小学校体育施設(自主管理方式)と中学校は指定校方式で、学校体育施設の開放を行う。	市民の体力づくりや健康増進を始め、余暇の利用にも寄与する、身近で有益なスポーツ施設としての学校体育施設について、学校教育活動に留意する中で開放を行う。	利用者数 52,881人	5	既存の学校施設を利用して、市民にスポーツの場を提供し、市民の体力づくりや健康増進を促すことができた。		スポーツ振興課
78	I III	3 1	(3) (3)	スマイルあいさつ運動	市	学校・家庭・地域社会が一体となり地域ぐるみで子どもを育てる活動の一環とし「スマイルあいさつ運動」を実施する。	学校・家庭・地域社会が一体となり地域ぐるみで子どもを育てる活動の一環とし「スマイルあいさつ運動」を実施する。	学校・家庭・地域社会が一体となり地域ぐるみで子どもを育てる活動の一環とし「スマイルあいさつ運動」を実施した。	5	小・中学校全70校で、学校・家庭・地域社会が一体となって、あいさつ運動が実施された。		学校教育課
79	I	3	(3)	学校評議員制度推進事業	市	地域社会に開かれた学校づくり、家庭・地域との連携協力、特色ある教育活動の展開のため、保護者や地域の意見を幅広く聞く場として、幼稚園・高松第一高等学校には学校評議員会を設置するとともに、小・中学校には高松型学校運営協議会を設置する。	地域社会に開かれた学校づくり、家庭・地域との連携協力、特色ある教育活動の展開のため、保護者や地域の意見を幅広く聞く場として幼稚園・高松第一高等学校に学校評議員会を設置するとともに、小・中学校には高松型学校運営協議会を設置する。	地域社会に開かれた学校づくり、家庭・地域との連携協力、特色ある教育活動の展開のため、保護者や地域の意見を幅広く聞く場として幼稚園・高松第一高等学校に学校評議員会を設置するとともに、小・中学校には高松型学校運営協議会を設置した。	5	小・中学校全70校で「高松型学校運営協議会」が、高松一高で評議員会が設置され、学校・家庭・地域と連携して教育活動が行われた。		学校教育課
80	I	3	(3)	高松型学校・地域連携システム推進事業	市	児童・生徒の健全な成長や学びを地域全体で支え、地域連携を中心とした教育活動の充実を図るため、高松型学校運営協議会を各小・中学校に設置し、学校やPTA、地域住民、各種団体等との連携を図る。	高松型学校運営協議会を各小・中学校に設置し、学校やPTA、地域住民、各種団体等との連携を図り、児童・生徒の健全な成長や学びの充実を図る。	高松型学校運営協議会を各小・中学校に設置し、学校やPTA、地域住民、各種団体等との連携を図り、児童・生徒の健全な成長や学びの充実を図った。	5	小・中学校全70校で「高松型学校運営協議会」が、高松一高で評議員会が設置され、学校・家庭・地域と連携して教育活動が行われた。		学校教育課
81	I	3	(3)	中学校運動部活動講師・部活動指導員派遣事業	市	運動部活動のうち、技能の取得過程で危険を伴う競技(柔道・剣道・なぎなた)を対象に、専門性等に優れた外部指導者を派遣する。	武道部活動の指導ができる教員がいない学校からの希望に対し、高い専門性と優れた人間性を有する指導者を講師として委嘱・派遣する。	外部指導者について、武道部活動に対し、9人を8校に派遣するとともに、部活動指導員について、2人を2校(剣道・なぎなた)に派遣した。	5	講師派遣希望があった全学校に講師を委嘱・派遣し、生徒への技術的な面や精神的な面での指導、並びに部活動担当教員に対して指導方法等の助言ができ、また部活動指導員を派遣することで、指導、引率等の職務を行うことができた。		保健体育課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	30年度事業内容(計画)	30年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
82	I	4	(1)	高松市民大学・屋島カレッジ事業	高松大学生涯学習教育センターと共催	市民の教養を高め地域文化の振興を図る「高松市民大学」、歴史・文化・自然・観光など郷土の良さを再確認を図る「屋島カレッジ」など、高松大学と共催で各種講演会を開催する。	市民の教養を高め地域文化の振興を図る「高松市民大学」、歴史・文化・自然・観光など郷土の良さを再確認を図る「屋島カレッジ」など、高松大学と共催で各種講演会を開催する。平成30年度は、会場の収容人員の制限により、講座参加人数800人を目指す。	【講座参加人数】553人	3	講座参加人数が目標に達しなかった。		生涯学習センター
83	I	4	(1)	センター利用促進事業	市	幅広い年齢層の市民が気軽に利用できるようコンサートや映画上映会のほか、関心の高い趣味・教養分野の講座を開催する。	幅広い年齢層の市民が気軽に利用できるようコンサートや映画上映会のほか、関心の高い趣味・教養分野の講座を開催し、講座参加人数2,800人を目指す。	【講座参加人数】1,488人	3	講座参加人数が目標に達しなかった。		生涯学習センター
84	I	4	(1)	まなびCAN・CSR教室	市	CSR(企業の社会的責任)という考えに基づき、生涯学習センターで、地元企業や個人事業者が生涯学習の観点から社会貢献を進める講座等を開催する。	CSR(企業の社会的責任)という考えに基づき、生涯学習センターで、地元企業や個人事業者が生涯学習の観点から社会貢献を進める講座等を開催し、講座参加人数800人を目指す。	【講座参加人数】1,016人	5	計画どおり実施した。		生涯学習センター
85	I	4	(1)	他団体との連携事業	市	国・県等の講師派遣制度の活用をはじめ、公的機関・庁内各課、コミュニティセンター等と連携した講座を開催する。	国・県等の講師派遣制度の活用をはじめ、公的機関・庁内各課、コミュニティセンター等と連携した講座を開催し、講座参加者数315人を目指す。	【講座参加人数】978人	5	計画どおり実施した。		生涯学習センター
86	I	4	(1)	遺跡発掘現場等公開事業	市	市内の遺跡発掘調査現場の調査成果(遺構・遺物)を、現地で速報的に公開する。(毎年2~5回程度、不定期に開催)	市内の遺跡発掘調査現場の調査成果(遺構・遺物)を、現地で速報的に公開する。(毎年2~5回程度、不定期に開催)	史跡追加指定記念古墳見学(石清尾山古墳群稲荷山地区) 70人 勝賀城跡現地説明会 100人 以上2回開催 計170人参加	3	現地説明会開催数は、開催数の予定最低数はクリアしたものの、現地で行う行事であるため、参加者数は当日の気象条件に左右されやすい。 30年度については、駐車場等から会場までの移動距離が長く、年配者が参加を敬遠した可能性が考えられる。 参加者の反応は概ね良好であることから、今後も継続して現地説明会を実施し、調査成果の情報公開に努めたい。		文化財課
87	I	4	(1)	出前(出張)埋蔵文化財事業	市	市内の埋蔵文化財(高松城跡・屋嶋城跡・石清尾山古墳群等)について、学校や市内の各種団体等の依頼により、現地等で説明・周知活動を行う。	市内の埋蔵文化財(高松城跡、屋嶋城跡、石清尾山古墳群等)について、前年に引き続いて実施する。	37団体 計1,467人に対して、石清尾山古墳群、高松城跡、屋嶋城跡、勝賀城跡ほか市内の遺跡の調査成果等について説明した。	3	前年度(29年度)は、屋嶋城跡城門の整備が完了(28年3月)した翌々年度にあたり、依然依頼数も多かった。30年度は、一般公開から2年が経過し、屋嶋城跡に関する賑わいも落ち着いてきたことによる減少と考えられる。 また、一般公開により、解説依頼を必要としない方も増加した可能性が考えられる。		文化財課
88	I	4	(1)	文学探訪事業	実行委員会(補助)	県内・近県の文学館や文学ゆかりの地を訪ね、文学への理解と関心・教養の向上に資するため文学探訪を実施する。	休止。	休止。	(評価不可)	休止。		文化財課 (菊池寛記念館)

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

No.	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	30年度事業内容(計画)	30年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してください)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業について原因及び今後の対策について	課名
	部	課	項目									
89	I	4	(1)	文芸講座	市	郷土で活躍する作家や歌人、大学教授などを講師に、幅広い分野の親しみやすい文学講座を開催する。	郷土等で活躍する作家や大学教授などの文化人を講師に、幅広い分野の親しみやすい文芸講座(1回の定員80人)を菊池寛顕影会と共催で年間10回開催する。	6月～3月の期間、毎月第2土曜日に、地域文芸の振興を図るため、郷土で活躍する大学教授などを講師に幅広い分野の親しみやすいテーマで文芸講座を10回開催した。 (1130参加者合計 638人)	4	成果は上がっているが、受講人数が目標に達していない回があるため、共催の菊池寛顕影会と連携を図りながら、より多くの市民が関心を持ち参加したくなるような広報活動等の工夫が必要。		文化財課 (菊池寛記念館)
90	I	4 I 1 I 3	(2) (1) (1)	交通安全教室	市	市民の交通安全意識の向上を図るため、幼児、児童、生徒のほか高齢者を対象とし、年齢に応じた交通安全教室を実施する。	市民の交通安全意識の向上を図るため、年齢層に応じた交通安全教室を引き続き実施する。	実施回数: 1,560回	4	実施回数が昨年度より若干増加したことは評価できるが、地域での効果的な実施方法等について、更に検討する余地がある。		くらし安全心課
91	I	4	(2)	市政出前ふれあいトーク事業	市	市政の仕組みや取り組んでいる施策・事業、今後の検討課題等について、設定テーマに応じて、職員が地域へ出向き、説明及び情報提供・意見交換を行う。	市政出前ふれあいトークのPR・受付業務	広報たかまつを始め、本市ホームページやプレスリリースなどを活用し、効果的にPRを行った。	4	実施回数が、目標値を上回ることができた。		広聴広報課
92	I	4	(2)	市場DE自由研究事業	市中央卸売市場運営協議会	市場見学等により、生鮮食品等に触れる機会の提供、市場の機能や流通システム等について学習する。	青果部、水産物部、花き部について2回ずつ、合計6回実施予定。	青果部、水産物部、花き部について2回ずつ、合計6回実施した。各回とも募集組数15組(親子2名で1組)のところ約1.7倍の応募があり、抽選を行った。	5	毎回多数の応募をいただき、抽選を行っている。夏休みの自由研究が完成するように、視覚・嗅覚・触覚・味覚で感じ取れる体験型の内容に務めており、アンケートでも満足度が高い。		市場業務課
93	I	4	(2)	自主防災組織等育成(自主防災訓練支援のための非常食品の助成)事業	地域コミュニティ協議会 自主防災組織(補助)	大規模災害時の防災活動に対応できるよう、コミュニティ協議会等と連携し、地域の実践的な防災訓練に使用する非常食品の助成などの支援を行う。	地域の実践的な防災訓練に使用する非常食品を44コミュニティ全てに助成するなどの支援を行う。	地域の実践的な防災訓練に使用する非常食品を、44コミュニティのうち39コミュニティに助成し、訓練を実施した。	4	地域の実践的な防災訓練に使用する非常食品の助成率100%を目指したが、88.6%の助成率となった。		予防課
94	I	4	(3)	児童館事業	市	子どもの遊びの拠点・居場所として、遊びや生活を通して子どもの発達を促進を図るほか、子育て家庭への相談・援助、交流の場の提供等を行う。	利用人数 57,250人	児童館数 7館 利用人数 58,010人	4	利用人数は目標値を上回っており、子どもの健全育成と子育て中の保護者の居場所づくりに貢献している。		子育て支援課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	30年度事業内容(計画)	30年度 事業内容(実績)	評価 (1～5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
	I	III	4									
95	I	III	4	子どもわくわく体験支援事業	実施団体(補助)	子どもの創造力や積極性・社会性を育む機会として、市内の自然・歴史・町並み等を活用した体験活動を実施する団体等への助成を行う。	団体数:5団体	団体数:5団体 【事業1】 ▼くらやみ×キャンプ△へくらやみで彩る野外活動の楽しさ～ 参加人数:4人 【事業2】 親子で作る「おしたく箱」 参加人数:96人(延べ人数) 【事業3】 なわ×なわジャンプ! Vol.9～なわとびの楽しさ無限大!～ 参加人数:210人 【事業4】 和の食文化を見直そう!『みそ作り』調理体験 参加人数:19人 【事業5】 家族DE楽しむわいわい寺子屋～春の公園でアウトドア体験～ 参加人数:9人	5	計画した団体数を達成したため。		生涯学習課
96	I	III	4	新春子どもフェスティバル	市	毎年2月第1日曜日に中央公園を中心に、校区対抗「かるたとりドッジボール・すもう大会」、自由参加の創作コーナー等多彩なプログラムで開催する。	開催予定日:平成31年2月3日(日) 場所:高松市立中央公園、市役所、四番丁スクエア、体育館 内容:校区対抗(かるたとり、ドッジボール、すもう)自由参加(創作コーナー、遊び名人コーナーほか)	開催日:平成31年2月3日(日) 場所:高松市立中央公園、市役所、四番丁スクエア、体育館 内容:校区対抗(かるたとり、ドッジボール、すもう)自由参加(創作コーナー、遊び名人コーナーほか) 参加人数:約5,000人	4	予定通りの開催に至り、例年通りの参加があったため		生涯学習課
97	I	III	4	子ども会フットベースボール大会	市	子ども達がスポーツを通して交流し友情を育む機会として、校区子ども会を対象にフットベースボール大会を開催する。	開催予定日:平成30年9月2日(日) 開催場所:高松市西部運動センター	開催日:平成30年9月2日(日) 開催場所:高松市西部運動センター 参加チーム:男子の部15チーム、女子の部11チーム 総勢:312人	3	参加したチームの子ども達は交流を深めることができたが、全体的に参加校区が減少しているため。		生涯学習課
98	I	III	4	高松・嶺北子ども交歓会	市	市の水源地である早明浦ダム周辺・嶺北地域の子どもの達と市の子ども達が交流し、水の大切さや有効利用を学び、集団活動を通して友情を育む機会として、交歓会を開催する。	開催予定日:平成30年10月から11月の土日 場所:未定 共催:高松市子ども会育成連絡協議会	開催日:平成30年11月3日～4日(1泊2日) 場所:香川県青年センター、セカンドステージほか 共催:高松市子ども会育成連絡協議会	4	混乱なく、例年通り開催することができた		生涯学習課
99	I	III	4	こども農園事業	市(農園主補助)	子どもが生活の中で自然と取組み、土に親しみ植物を育てる喜びと勤労の尊さを体験する機会として、農園主にこども農園事業として助成し、校区の子ども会等が活用する。	市内8校区11農園	市内8校区11農園	3	目標値は達成しているが、年々、農園数が減少しているため。		生涯学習課
100	I	I	4	埋蔵文化財センター体験学習	市	埋蔵文化財への興味・関心を高めるため、四番丁スクエア内の埋蔵文化財センターで、鑄造・瓦製作体験学習を行う。	鑄造・瓦製作・勾玉製作等の体験学習 その他、体験学習行事 (夏休み限定の体験学習を実施予定)	鑄造・瓦製作・勾玉製作等の体験学習、その他、体験学習行事 (夏休み限定の体験学習を実施)	5	予定した体験講座を全て実施することができた。また目標数を上回る参加者を得え、好評である。		文化財課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	30年度事業内容(計画)	30年度 事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
101	I	4	(3)	香南歴史民俗郷土館子ども講座	市	香南歴史民俗郷土館で、夏休みを中心に、郷土の歴史文化を体験する、子ども講座を開催する。	H30年度6講座開催予定 「ミニ植輪をつくろう」 「親子手づくり教室」 「手習草子(書道教室)」 「化石のレプリカをつくろう」 「勾玉をつくろう」 「夏講座関連教室」	H30年度5講座開催 「和紙し本をつくろう」(7/22) 「粘土で家紋をつくろう」(7/26) 「手習草子(書道教室)」(8/3) 「化石のレプリカをつくろう」(8/5) 「勾玉をつくろう」(8/8)	5	講座内容を再検討した結果、開催数が減少したが、実施した講座は概ね好評であった。		文化財課 (香南歴史民俗郷土館)
102	I	4	(3)	伝統的ものづくり夏休み親子体験教室	市(伝統的ものづくり関係事業者へ体験教室の委託)	親子で本市の伝統的ものづくりへの理解と関心を深め、普及啓発を図ることを目的とし、夏休みの宿題解決や子どもと大人と一緒に地域の伝統的ものづくりにふれあい、学ぶ体験の場にする。同時に、シビックプライドの醸成につながる場を創出する。	平成29年度同様、夏休み期間中に親子で体験できる教室を開催予定。(6コース×2回、各回定員親子15組)	伝統的ものづくり夏休み親子体験教室を、7月26日(木)3コース、7月31日(火)3コースを開催。(各コース午前と午後2回)総勢148組の親子が参加。	4	総定員180組に対し、232組の応募があった。伝統的ものづくりに対する理解と関心が高く、有意義な普及活動であったと考えられるため。		産業振興課
103	I	4	(3)	こども未来館わくわく体験事業	市	子どもの夢や想像力を育み、健やかな成長に資するとともに、子どもを中心とした幅広い世代の人々の交流を促進するため、こども未来館において、公募によるイベントプログラムのほか、こども未来館まつり(11月)を実施する。	・公募プログラム等の実施 ・こども未来館まつりの実施 ・遊び体験プログラムの実施	・公募プログラム等・・・3,181人 ・こども未来館まつりの実施・・・744人 ・遊び体験プログラム・・・1,625人	5	設定した目標が達成されている。		こども未来館
104	I	5	(1)	視聴覚ライブラリー	市	視聴覚教材・機材等の利用促進を図るため、教材・機材の貸出・保存を行う。	視聴覚教材・機材等の利用促進を図るため、教材・機材の貸出・保存を行う。	視聴覚教材・機材等の利用促進を図るため、教材・機材の貸出・保存を行った。	5	計画どおり実施した。		生涯学習センター
105	I	5	(2)	コミュニティセンター整備事業	市	コミュニティセンターの改築について、①老朽化に伴う改築②長寿命化の観点に基づいた計画的な保全、この2点を柱とした新整備計画に基づき施設整備を行う。	①木太:改築工事 ②川岡:改築実施設計 ③太田:改築実施設計、床版更新工事 ④屋島:源平荘耐震改修実施設計、借地造成工事、用地取得 ⑤十河:用地取得 ⑥男木:改築基本設計 ⑦トイレ男女別化検討設計	①木太:改築工事(完了) ②川岡:改築実施設計(完了) ③太田:改築実施設計(完了)、床版更新工事(H31へ繰越) ④屋島:源平荘耐震改修実施設計、借地造成工事(完了)、改築実施設計、用地取得(H31へ繰越) ⑤十河:用地取得(完了)、改築基本設計(H31へ繰越) ⑥男木:改築基本設計(完了) ⑦トイレ男女別化検討設計(完了)	4	木太、川岡、十河、男木コミュニティセンターの各事業については予定どおり進捗しているが、太田コミュニティセンター床版更新工事について、設計内容の検討に日時を要したことや、屋島コミュニティセンター改築に伴う用地取得について、契約書で地権者が行うこととしていた事項について、その履行に日時を要したことにより、年度内で完了せず繰越となったため。		地域振興課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

No.	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	30年度事業内容(計画)	30年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択して ください)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
	部	課	事業									
106	I	5	(3)	エコホテルの利用促進事業	市	南部クリーンセンターで施設見学、親子リサイクル工作会、環境パネルの展示、環境啓発DVDの視聴などを実施する。	・施設見学、体験学習事業(紙すき等) ・施設紹介・分別収集啓発用パンフレットの印刷及び配布 ・夏・冬休み親子工作会 計7回開催予定 ・夏休み親子見学会 8回開催予定	・施設見学、体験学習事業(紙すき等) ・施設紹介パンフレットの印刷及び配布 ・夏・冬休み親子工作会 計7回開催 ・夏休み親子見学会 8回開催	4	親子見学会を2回増やし、8回開催したほか、地域団体等に見学案内文を送付し、目標利用者数をした。(3,235人)		南部クリーンセンター
107	I	5	(3)	特別展・常設展等展示事業	市	近代絵画や工芸、サブカルチャーなど幅広いジャンルをバランスよく企画し、特別展・常設展を開催する。	特別展、常設展の実施を予定。	(市美術館)特別展5展(22,810人)、常設展4展(17,153人) (塩江美術館)企画展3展(2,128人)、常設展1展(2,488人) 入場者数計 44,579人	2	設定した目標値に達しなかったため。	平成30年度展覧会は、アンケート等によると観客満足度は高く、内容的には充実したものとされたが、集客的には苦戦した。今後はSNSを活用するなど広報を工夫し集客に結び付けたい。	美術館美術課
108	I IV	5 1	(3) (2)	瀬戸内アートネットワーク事業	市	近隣美術館との連携を図るため、県内主要美術館で、共通パンフレットの作成、入館割引やスタンブラーを実施する。	「瀬戸内アートネットワーク事業」のうち「旅の美術館手帖」事業は休止となるが、瀬戸内国際芸術祭の開催に向け、各施設が連携し、情報発信を行っていく。	「旅の美術館手帖」事業休止のため実績なし	(評価不可)	事業休止のため。		美術館美術課
109	I	5	(3)	子どものアトリエ事業	市	展覧会関連事業として、表現の可能性を楽しんでもらう美術講座「子どものアトリエ」を開催する。	こども+(こどもアートスペース)を活用し、「子どものアトリエ」等を実施する。	実施回数9回 参加者数1,751人	3	設定した目標値に達し、十分成果が上がっているため。		美術館美術課
110	I	5	(3)	アートで遊ぼう！(鑑賞プログラム)	市	鑑賞教育の充実を図るための鑑賞プログラム「アートで遊ぼう！」を実施し、学芸員とともに美術作品の鑑賞を行う。	「アートで遊ぼう！」を実施する。	実施回数5回 参加者数13人	2	設定した目標値に達しなかったため。	「子どものアトリエ」事業と内容的に重なったため。	美術館美術課
111	I	5	(3)	企画展・常設展等展示事業	市	原始・古代から現代までの高松の歴史を常設で展示するとともに、企画展・収蔵品展・ロビー展等を開催し、資料を展示・紹介する。	原始・古代から現代までの高松の歴史を常設で展示するとともに、収蔵品展「LOCAL STUDIES」、企画展「香川の『光』を『観』る(仮)」、企画展「石清尾山古墳群稲荷山支群の調査成果展(仮)」、収蔵品展「イメージの形成と拡散(仮)」、ロビー展等を開催し、資料を展示・紹介する。	原始・古代から現代までの高松の歴史を常設で展示するとともに、収蔵品展「LOCAL STUDIES」、企画展「たかまつ今昔」、企画展「Mt.IWASEO」、収蔵品展「幕末明治万華鏡」、ロビー展、学習室展示を開催し、資料を展示・紹介した。	4	前年度と比べ観覧者数が減少したが、概ね好評であった。		文化財課 (歴史資料館)
112	I	5	(3)	文学展事業	実行委員会(補助)	貴重な文学資料を鑑賞し、文学への理解と関心を高める機会として、菊池寛ほか郷土ゆかりの作家等の文学展を開催する。	菊池寛生誕130年・没後70年のメモリアルイヤーであるので、11月10日に「ふるさとと文学2018～菊池寛と故郷高松」事業を開催。また、11月20日～12月26日の会期で「生誕130年・没後70年記念 菊池寛をふりかえる」を開催、企画展示をはじめ特別行事により、文学への理解と関心を高める機会を提供する。	菊池寛生誕130年・没後70年の記念行事としてシンポジウム「ふるさとと文学2018～菊池寛の高松」を開催するとともに関連行事として企画展及び特別講演会等を開催した。 (参加人数 3,564人)	5	記念シンポジウムを開催し菊池寛が残した功績を全国に発信したことにより、文学展観覧者等人数は目標値を大幅に上回り当該事業の成果を得ることができた。		文化財課 (菊池寛記念館)
113	I	5	(3)	図書館等資料整備事業	市	図書館サービスの向上、機能強化等を図るため、各種資料(図書・雑誌・新聞・AV資料等)・情報の収集・提供を行う。	図書・雑誌・新聞・AV資料等の収集・提供資料整備費 (74,157,000円 分室活性化事業費2,000,000円を含む)	図書・雑誌・新聞・AV資料等の収集・提供資料整備費 (74,101,780円)	5	予算執行率が約100%であり、計画的な資料等の収集・提供ができています。		中央図書館

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	30年度事業内容(計画)	30年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してください)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業について原因及び今後の対策について	課名
114	I	5	(3)	移動図書館事業	市	移動図書館車3台で、図書館の利用が困難な校外地域84ステーションを巡回し、図書等の貸出サービスを実施する。	移動図書館車3台で、図書館の利用が困難な郊外地域84ステーションと瀬戸・高松広域連携中核都市圏の直島2ステーションを含む86ステーションに巡回サービスを実施する。 160,000冊	移動図書館車3台で、図書館の利用が困難な郊外地域84ステーションと瀬戸・高松広域連携中核都市圏の直島2ステーションを含む86ステーションに巡回サービスを実施した。 132,564冊	4	年間計画どおりのサービスを実施し、一定の成果は上がっているが、貸出冊数の増加のためにステーションの見直しが必要である。		中央図書館
115	II	1	(1)	協働企画提案事業	市民活動団体等	社会的・公益的課題の解決、市民サービス向上のため、市民活動団体等の専門性・先進性・柔軟性など特性を生かした企画提案を募集する。	平成29年度実施団体から継続申請を受け、審査を経て採択実施。また、30年度新規事業を募集し、審査を経て最大継続2事業、新規2事業を採択実施。 個々の事業にアドバイザーを選任し、きめ細かに協議を実施し、事業のブラッシュアップを図ると共に、互いに協働事業への理解を深める。	新規事業2事業、継続事業2事業を採択実施。 新規①特定非常利活動法人子育てネットひまわり：「多胎育児をもっと楽しく！～ピアサポートから生まれる多胎育児支援ツール作成事業～」 新規②SONAE-NET：「訪日外国人、日本人国内旅行者、地域外出者に向けた帰宅困難者誘導訓練と多言語解説書(チラシ)作成 継続①香川県聴覚障害児(者)親の会：「UD(ユニバーサルデザイン)たかまつ」プロジェクト！福祉・観光・教育を中心に市役所内外でICT活用によるUD先進市「たかまつ」をめざして！」 継続②あしたプロジェクト：「マイノリティに優しい未来人創成プロジェクト～自分らしいを創造する高松市へ～」 各事業関係課及びアドバイザーとの協議をきめ細かに実施したことにより、事業のブラッシュアップが行われ、より効果的な取組につながった。また協働事業への取組に対する理解も深めることができた。	5	アドバイザーと関係課とが、きめ細かな協議を実施し、事業内容の充実図った結果、本来の協働の観点からの取組ができ成果の向上につながった。今後、行政及び市民活動団体等が互いに協働事業への取組に対する認識を深め、共通理解を図ることにより、更なる向上が期待できる。		男女共同参画・協働推進課
116	II	1	(2)	観光ボランティアガイド事業	市観光ボランティアガイド協会(補助)	観光客等の利便を図るため、市内の歴史・文化・自然・物産などを紹介するボランティアガイドを育成する。	市内(屋島山上・玉藻公園内・サンポート高松)3か所で、ボランティアガイド事業を実施。 会員の高齢化が年々問題化されているので、ガイド事業を継続するためにも研修等を通して、後継者の育成に力を入れて取り組むこと。	市内(屋島山上・玉藻公園内・サンポート高松)3か所で、ボランティアガイド事業を実施した。 また、高松短期大学と連携し、屋島山上で大学生による学生ガイドを実施した。既存ガイドに活気をもたらすとともに、大学生にガイドを行ってもらったことで、屋島に興味を持ってもらうことができた。	4	ガイド件数は増加しており、観光ガイドの必要性が感じられる。また、会員の高齢化が問題となっているため、若返りを図ることを目的に学生ガイドを実施した。学生ガイドのお客様アンケートからも、8割以上のお客様が満足・やや満足との回答であり、高評価をいただいた。		観光交流課
117	II	1	(2)	美術館ボランティア事業	市	市民の美術活動の支援と展覧会鑑賞者の利便性を図るため、美術館ボランティアを設置する。	開催特別展のギャラリートーク等を実施する。	実施回数48回 参加者数1,030人	3	設定した目標値に達しなかったため。		美術館美術課
118	II	1	(2)	学習成果発表の場事業	市	市民や市民グループの学びの成果を発表することで、さらなる学習意欲の向上を図り、生涯学習の輪を広げるための講座を開催する。	市民や市民グループの学びの成果を発表することで、さらなる学習意欲の向上を図り、生涯学習の輪を広げるための講座を16講座開催する。 「学習成果発表の場事業」に変更。	【講座数】28講座	5	計画どおり実施した。		生涯学習センター

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系		事業名	実施主体	事業概要	30年度事業内容(計画)	30年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
119	II	1	(2)	まなびCANこども教室	市	生涯学習センターにおいて、ボランティア講師による、小・中学生を対象としたものづくりや環境問題等の講座を開催する。	生涯学習センターにおいて、ボランティア講師による、小・中学生を対象としたものづくりや環境問題等の講座を開催し、講座参加人数392人を目指す。	【講座参加人数】200人	3	講座参加人数が目標に達しなかった。	生涯学習センター
120	II	1	(2)	資料館ボランティア事業	市	歴史資料館サポーターによる支援活動(企画展・収蔵品展でのミュージアムトーク、資料整理、チラシ等発送準備)、古文書解説ボランティアによる収蔵資料解説・データ化等を行う。	歴史資料館サポーターによる支援活動(企画展・収蔵品展でのミュージアムトーク、資料整理、チラシ等発送準備)、古文書ボランティアによる収蔵資料解説・データ化等を行う。新規のサポーター数の増加を図る。	歴史資料館サポーターによる支援活動(企画展・収蔵品展でのミュージアムトーク、資料整理、チラシ等発送準備)、古文書ボランティアによる収蔵資料解説・データ化等を行った。	4	サポーターによるボランティア活動として定着しており、活動内容も円滑に実施されている。サポーター数の増加は無いものの、活動に必要な人員は維持している。	文化財課 (歴史資料館)
121	II	1	(2)	たかまつこどもサミット	教育委員会・高松栗林ライオンズクラブ	高松市内の小学校児童(4校程度)が各校で調査・研究した結果をテーマに基づき発表し、また、各校からの発表について子どもたちや大人が共に考え、話し合うとともに、提言を行う。	開催予定日:平成31年2月16日(土) 場所:生涯学習センター	開催日:平成31年2月17日(日) 場所:生涯学習センター テーマ:高松のよさ大発見! 発表校・内容 ①一宮小「花いっぱい町一宮」 ②三浜小「三浜小学校自慢のトリプルスリー」 ③鶴尾小「子どもと大人が共につくる魅力ある高松〜鶴尾校区の夏祭り〜」 ④仏生山小「届けよう服のチカラ!〜仏生山から愛をこめて〜」	5	予定通り実施できたため。	生涯学習課
122	II	2	(1)	市民活動センター事業	市	市民活動センターにおいて、市民活動活性化のため、情報収集・提供、学習・研修、交流・コーディネート、調査・連携、災害時対応など各種事業を実施する。	・各種講座の実施(活動支援、活動紹介等) ・NPO法人認証等事務に関する相談等 ・高松市まちづくり学校 ・情報収集及び発信(機関誌、HP、FB等)	・活動支援講座(会計・労務等) 17回 109人 ・活動紹介講座(みどりを楽しむ教室等) 27回 467人 ・高松市まちづくり学校(地域づくりチャレンジ塾) 6回 144人 ・みんなの学縁祭 1回 117人 ・みんなでみんなの(和い輪いかい) 9回 969人	4	市民活動団体や市民に対し、幅広い活動支援に取り組むことができています。今後は様々な各種団体等のニーズに合わせた、講座等を実施していくことで、更なる効果が期待できる。	男女共同参画・協働推進課
123	II	2	(2)	大学等との連携事業	市	行政課題へ迅速かつ的確に対応するため、大学等と包括協定を締結し、多分野・多面的な連携を推進する。	行政課題の解決を図るため、大学や金融機関に加え、地域における多様な主体と連携し、連携事業を充実させる。	行政課題の解決を図るため、大学や金融機関に加え、損害保険会社3社と包括連携協定を締結するなど、地域における多様な主体との更なる連携により事業を充実させた。	4	大学や金融機関に加え、新たな主体と包括連携協定を締結してきたが、今後協定に基づく事業の展開や、さらに多くの主体との連携を進めていく余地があるため。	政策課
124	II	2	(2)	シルバー人材センター事業	(公社)高松市シルバー人材センター(補助)	高松市シルバー人材センターにおいて、働く意欲のある高齢者の就業機会を増大し、社会参加と生きがいづくりを促進する。	シルバー人材センターにおいて、働く意欲のある高齢者の就業機会を増大させ、多様なニーズに対応することで、社会参加と生きがいを得る場を提供する。	シルバー人材センターにおいて、働く意欲のある高齢者の就業機会を増大させ、多様なニーズに対応することで、社会参加と生きがいを得る場を提供した。	3	「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」の改正により、65歳までの継続雇用制度等が開始され、高齢者の雇用機会が増加したこと、短時間労働を主とするシルバー人材センターにあっては、設定した目標が達成せず、成果が上がっていない。	長寿福祉課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

No.	施策体系		事業名	実施主体	事業概要	30年度事業内容(計画)	30年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してください)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業について 原因及び今後の対策 について	課名
	部	課									
125	II	2	「ため池守り隊」市民活動支援事業	市民活動団体(補助)	自然環境保全のため、非農家も参加し、ため池の清掃活動等を実施する団体に補助金を交付する。	19か所(市長マニフェスト平成30年度目標)	17か所	3	新たな団体からの申請はなく、前年度から引き続き活動をしている団体が活動を行ったが、非農家も参加し、自然環境保全に役立った。		土地改良課
126	II III	2 2	まちかど漫遊帖事業	高松まちかど漫遊帖実行委員会(補助)	歴史探訪・食・産業など高松の隠れた観光資源を発掘し、市民主体で企画・運営する。まち歩きガイドを実施し、観光客の誘致を図り、まちの活性化につなげる。	歴史探訪・食・産業など高松の隠れた観光資源を発掘し、市民主体で企画・運営する。まち歩きガイドを実施し、観光客の誘致を図り、まちの活性化につなげる。	まち歩き型観光事業として春編(4月1日～6月30日)と秋編(10月1日～12月28日)を開催した。春編23コース、秋編28コースの合計51コースを開催した。	4	新規参加の拡大だけでなく、まち歩きに魅力を感じてリピーターとなる方が増えている。順調に参加者が増加しており、平成30年度には通年参加者が初めて500人を超えた。		観光交流課
127	III	1	高松いきいき大学事業	高松市老人クラブ連合会(補助)	高松市老人クラブ連合会において、市内在住の60歳以上の高齢者を対象に、3学科(健康・文化・生活)の高松いきいき大学を開講する。	高松市老人クラブ連合会において、市内在住の60歳以上の高齢者を対象に、3学科(健康・文化・生活)の高松いきいき大学を開講する。	高松市老人クラブ連合会において、市内在住の60歳以上の高齢者を対象に、3学科(健康・文化・生活)の高松いきいき大学を開講した。平成30年5月～平成31年2月定員165名(各学科55名ずつ)	5	設定した目標が達成され、十分効果が上がっている。		長寿福祉課
128	III I	1 5	コミュニティセンター同好会事業	市	コミュニティセンター等において承認を得た同好会に対して、定期利用の許可・利用料金の減免を行う。	コミュニティセンター等において承認を得た同好会に対して、定期利用の許可・利用料金の減免を行う。	コミュニティセンター等において承認を得た同好会に対して、定期利用の許可・利用料金の減免を行った。	5	計画どおり実施した。		生涯学習センター
129	III	1	男女共同参画市民フェスティバル	男女共同参画市民フェスティバル実行委員会(補助)	高松市男女共同参画センター登録団体が中心となり、講演会の開催・パネル展・ワークショップ等を開催する。	高松市男女共同参画センター登録団体が中心となり、講演会の開催・パネル展・ワークショップ等を開催する。	高松市男女共同参画センター登録団体が中心となり、講演会の開催・パネル展・ワークショップ等を11月～12月に開催した。	4	予定通り事業が実施され、センターが中心となり、講演会のほか様々な参加団体によるワークショップやパネル展、映画等を開催した。今後は更なる参加者の増加にむけて取組む必要がある。		男女共同参画・協働推進課
130	III	1	市民活動団体ネットワーク構築事業	市民活動団体等	各種市民活動団体や教育機関等との交流会の開催など、団体同士のネットワーク構築を図る。	高松市まちづくり学校実行委員会を中心に、市民活動団体、地域コミュニティ協議会関係者等、地域づくりに関わる多様な人々との連携・交流の場として、「みんなの学"縁"祭」を開催する。	①地域づくりチャレンジ塾2018最終報告会「みんなの学縁祭」 平成31年1月12日(土)市民交流プラザIKODE瓦町アートステーション 参加者100人 ②地チャレ☆フェスティバル	4	「みんなの学縁祭」の開催により、市民活動団体等と地域コミュニティ協議会関係者の交流はもとより、互いが様々な場面で地域づくりをともに考える場を共有できた。今後、更に多様な主体との連携交流を深めることで、ネットワークが広がり、活動の活性化が期待できる。		男女共同参画・協働推進課
131	III	1	子ども未来ネットワーク会議	市	子育て支援団体等の相互交流・情報交換の場として、部門別会議や座談会を開催し、連携・協働を図る。	子育て支援事業を実施する団体ごとのネットワークを構築する部門別会議を開催する。 ・地域子育て支援センター部門(2回) ・地域組織部門(2回) ・学童保育部門(2回)	子育て支援事業を実施する団体ごとのネットワークを構築する部門別会議を開催する。 ・地域子育て支援センター部門(2回) ・地域組織部門(2回) ・学童保育部門(2回) 各種子育て支援事業実施団体が一堂に会し、意見交換できる場を提供するために「子ども未来ネットワーク会議座談会」を開催。(2回) ・学童保育部門の研修時に、情報交換・共有を実施。	4	ネットワーク会議に参加することにより、情報交換・共有ができるため、各会議とも参加者が増加した。学童保育部門については、学童を対象にした研修等において、ネットワークの構築を図った。		子育て支援課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

No.	施策体系		事業名	実施主体	事業概要	30年度事業内容(計画)	30年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してください)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業について原因及び今後の対策について	課名
	III	I									
132	III	I	子どもを中心とした地域交流事業	市	地域で活動する各種団体等が協働することにより、団体の持ち味やネットワークを活かしながら、子ども及び保護者並びに地域の大人が関わる継続的な事業を実施することで、地域の住人が顔見知りになるほか、地域の一体感を醸成するとともに、地域ぐるみで子どもを育む機運を高める。地域交流事業の一環として、通学合宿を併せて実施することができる。	(1)地域交流事業 新規3校区、継続8校区 (2)通学合宿事業 新規2校区、継続1校区 事業を継続してもらうことにより、さらに子どもと地域との交流の輪を広げる。	①川島(農業体験等)②多肥(ハイキング、遊ぼうパン等)③国分寺南部(さつまいも栽培、昔遊び等)④一宮(ダンボール工作、バルーンフェスタ等)⑤弦打(夏まつり、通学合宿等)⑥十河(さつまいも栽培、ドミノ、通学合宿等)⑦植田(農園、キャンプ等)⑧日新(ラジオ体操、防災学習等)⑨三谷(農園体験、ポット苗作成等)⑩川岡(プロックリ栽培、寄せ植え体験等)	4	子ども、保護者、地域が一つの目標に向かって協力し、交流しながら事業を実施でき、その過程でお互いを思いやる気持ちが育めた。また、子どもの表現力が豊かになり、地域の人に自ら質問など働きかけるようになった。		生涯学習課
133	III	I	掃除教育「びかびかデー」	市	幼稚園・小学校で、地域の高齢者等から掃除の仕方を学びながら清掃活動・心の教育を行う。	市立幼稚園 23か所、市こども園6か所を実施。	市立幼稚園 23か所、市こども園6か所を実施。	5	当初の予定どおり事業を実施することができた。		こども園運営課 学校教育課
134	III	I	地域密着型トップスポーツチーム交流・連携事業	市	地域密着型トップスポーツチームとの交流・連携を図るため、スポーツ教室やスクールガード等を実施する。	地域密着型トップスポーツチームとの交流・連携を図るため、スポーツ教室やスクールガード等を実施する。	572回 34,832人	4	香川ファイブアローズ(バスケットボール)のスクール活動、カマタマーレ讃岐による学校訪問の増加などにより、目標値(前年実績)を上回る結果となったため。		スポーツ振興課
135	III	I	地域コミュニティ人材養成事業	市	まちづくり活動の中核を担う地域のリーダー養成を目的とした人材養成事業を実施する。	平成30年12月頃 ○講師 未定 ○対象者 地域コミュニティ関係者 400名程度	平成31年2月16日(土) ○講師 中川 幾朗氏 (帝塚山大学 名誉教授) ○地域コミュニティ関係者 343名 平成31年1月12日(土) ○講師 櫻井 常矢氏 (高崎経済大学 教授) ○地域コミュニティ関係者 129名	4	地域の課題に的確に対応した講師選定により参加者の評価は高かった。ただし、高松市コミュニティ協議会連合会10周年記念事業は、当該年度限りの内容となっており、今後の内容を検討する必要がある。		コミュニティ推進課
136	III	I	認知症サポーター養成講座	市	認知症高齢者等に対する正しい知識を持ち、地域で認知症高齢者等や家族を支援するサポーターを養成し、安心して暮らせる地域づくりの担い手を増やす。	参加人数 目標は3,000人 ①認知症の人やその家族等の生活を身近なところで支えている地域住民・学校・企業等の幅広い年齢層の住民等を対象に講座を開催する。 ②認知症サポーターが、講座で得た知識をいかに、認知症高齢者等にやさしい地域づくりの担い手としての活動の場を拡大する。	認知症サポーター養成人数 4,725人	5	目標3,000人に対して、157%の実績であるため。		地域包括支援センター

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

No.	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	30年度事業内容(計画)	30年度事業内容(実績)	評価 (1～5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
	III	I	2									
137	III	I	2	PTA地域活動促進事業	市	地域ぐるみ、市民ぐるみの子どもの健全育成を促進するために高松市PTA連絡協議会への活動を支援する。	高松市PTA連絡協議会へ運営事業、メール配信運営事業の補助金の交付	高松市PTA連絡協議会へ運営事業及びメール配信事業の補助金を支出(運営事業:6月・10月、メール配信事業:6月)	5	助成によりPTA活動の充実・発展に寄与したため。		生涯学習課
138	III		2	少年団体育成事業	市	校区子ども会育成連絡協議会相互の連携を図り、子ども会活動の充実と子どもの健全育成のため高松市子ども会育成連絡協議会の運営を支援する。	高松市子ども会育成連絡協議会への補助金を交付し、支援を行う	協議会へ補助金を支出することで、子ども会活動の充実と子どもの健全育成のため協議会の運営を支援する。	4	予定通り助成し、運営を支援できたが、子ども会加入率は、約60%で横ばい状態であり、課題解決に至らなかったため。		生涯学習課
139	III		2	青年活動推進事業	市	青年活動の振興を目指し自主的に活動する市青年連絡協議会への助成と、青年教育振興のため協議会へ参画する。	更なる青年活動の振興を図るため、市青年連絡協議会への助成を行うとともに各種会合へ参加し、会員数の増加を図る	市青年連絡協議会への運営支援として補助金を交付し、青年活動の振興を図るため、各種会合へ参加した	4	各種行事、会合へ積極的に参加したが、会員数が減少しているため。		生涯学習課
140	III	I	2	生涯学習推進員養成研修	市	コミュニティセンター職員などの生涯学習推進員を対象に、生涯学習に関する知識・技能の向上を図るための講座を開催する。	コミュニティセンター職員などの生涯学習推進員を対象に、生涯学習に関する知識・技能の向上を図るための講座を開催し、講座参加人数464人を目指す。	【講座参加人数】414人	4	講座参加人数が目標に達しなかった。		生涯学習センター
141	III		2	防災講演会	市	防災士を始め、各地で地域防災に関心のある市民を対象に、地域防災に取り組むために必要な内容について、学識経験者を講師に招き、防災講演会を開催する。	防災週間に合わせ、防災士を始め、各地で地域防災に関心のある市民を対象に、地域防災に取り組むために必要な内容について、学識経験者を講師に招き、防災講演会を開催する。	実施計画のとおり、防災週間(8月30日～9月5日)に合わせ、9月1日(土)に開催した。	4	当初の予定どおり、滞りなく講演会を開催できた。		危機管理課
142	III	IV	2	環境学習・環境教育の推進事業	市	環境ワークショップ、環境学習支援事業、リサイクルアート事業、自然観察体験事業などを実施する。	環境に関する知識の向上や意識啓発を図る環境ワークショップの実施や環境情報の提供を行うとともに、コミュニティセンター等、地域で実施する環境学習支援事業(出前事業)を実施する。	環境に関する活動を行っているNPO等を講師に招き、環境ワークショップ(館内講座)や環境学習支援事業(出前事業)の実施や環境情報の提供を行い、市民の環境問題への意識啓発を図った。	4	目標人数は達成できなかったが、市民からの要望を踏まえた内容についてNPO等と協議しながら、多岐に渡るテーマで各事業を実施した。		環境保全推進課
143	III		2	幼年・少年消防クラブの育成	幼少、少年消防クラブ連絡協議会(補助)	幼少年期から防災意識を高め、地域の安全・安心の担い手として育成するため、保育所・幼稚園・小中学校に幼少年消防クラブの結成を推進する。	幼少年期から防火意識を高め、地域の安全・安心の担い手として育成するため、保育所・こども園、小中学校に幼少年消防クラブの結成を推進する。	平成30年度末におけるクラブ数は、幼年消防クラブ54クラブ、少年消防クラブ19クラブとなっている。	3	幼年消防クラブ、少年消防クラブ共にクラブ結成数に増減はなかった。		予防課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系		事業名	実施主体	事業概要	30年度事業内容(計画)	30年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
144	III	2 (2)	子ども育成指導者養成事業	市	各校区の子どもリーダー・ジュニアリーダー・育成者を対象に、子ども会活動に必要な実技指導の講習会を開催する。	第1回:校区育成会新役員講習会 平成30年5月13日(日) 塩江セカンドステージ 第2回:子ども会リーダー研修会 平成30年7月7日(土) 高知県香南市野洲 第3回:子ども会リーダー研修会 開催日・場所:未定 第4回:育成会指導者講習会 開催日・場所:未定	第1回:校区育成会新役員講習会 平成30年5月13日(日) 塩江セカンドステージ 参加者数:75人 第2回:育成会指導者講習会 平成30年10月13日(土) 香南アグリム 参加者数:36人 第3回:子ども会リーダー研修会 平成30年12月1日(土)・2日(日) 国立三瓶青少年交流の家 参加者数:34人 第4回:子ども会リーダー研修会 平成31年2月23日(土) 愛媛県総合科学博物館・紙のまち資料館 参加者数:53人	4	全回において参加者数が少なかつたため。		生涯学習課
145	III	2 (2)	地域活動促進事業	市	地域における子ども活動の充実・拡大のため、子ども会や育成会が実施する研修会や事業に、専門的な指導・助言を行う指導員を派遣する。	派遣予定時間:40時間 役員講習会のように単位子ども会の役員が集まる場で資料配布するなど、高松市子ども会育成連絡協議会と協力して広報に努める。	派遣時間:11時間 派遣回数:6回	2	子ども会の理事会などの場で、事業の啓発を行ったが、申請が少なかつたため。	主な原因と考えられる周知不足を解消するため、ちらしの改善や指導者講習会での周知等、啓発の内容・回数を充実させる。	生涯学習課
146	III II	2 1 (2) (2)	よみきかせたいJr派遣事業	市	子どもの自主的な読書活動や社会貢献への意義や重要性を養う機会として、老健施設等での「よみきかせたいJr」、「キッズ読み聞かせ隊」による読み聞かせ活動を実施する。	子どもの自主的な読書活動や社会貢献への意義や重要性を養う機会として、老健施設等での「よみきかせたいJr」、「キッズ読み聞かせ隊」による読み聞かせ活動を実施する。 継続的に養成講座を開催し、読み聞かせ活動(おはなし会)を充実させる。外部から依頼があれば積極的に実施する。	子ども読書まつりでのおはなし会等図書館のイベントを中心に、計12回の読み聞かせ活動を行った。	5	依頼による外部活動はなかつたものの、図書館のイベントを中心に活動を行った。		中央図書館
147	III	3 (1)	公文書館管理運営	市	歴史公文書等の保存、利用及び調査研究並びに普及啓発を行う施設として公文書館を管理運営する。	・塩江支所(旧塩江町)文書整理及び歴史公文書等の移管 ・庵治支所(旧庵治町)文書目録作成 ・高松市分歴史公文書等の例年移管 ・公文書館利用促進	・塩江支所(旧塩江町)文書整理及び歴史公文書等の移管 ・庵治支所(旧庵治町)文書目録作成 ・高松市分歴史公文書等の例年移管 ・公文書館利用促進(公文書館企画展・親子体験教室)	5	十分成果が上がっている		総務課
148	III	3 (1)	南部地域スポーツ施設整備事業	市	市民スポーツの振興を図るため、「南部地域における特色あるスポーツ施設」として整備する。	建設工事	しゅん工	5	整備工事がしゅん工した。		スポーツ振興課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	30年度事業内容(計画)	30年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してください)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業について原因及び今後の対策について	課名
149	III	3	(1)	美術資料の収集	市	美術品の取得方針に基づき、系統的に美術品を購入する。	日本の現代美術や香川の工芸などの作品を収集する。	19点	3	設定した目標値に達しなかったため。		美術館美術課
150	III	3	(1)	資料館資料の収集・調査・研究	市	歴史資料館ほか3館(讃岐国分寺跡資料館・香南歴史民俗郷土館・石の民俗資料館)の活動に必要な資料を収集し、展示・公開に向けての調査研究、保存管理等を行う。	歴史資料館ほか3館の活動に必要な資料を収集し、展示・公開に向けての調査研究、保存管理等を行う。	歴史資料館ほか3館の活動に必要な資料を収集し、展示・公開に向けての調査研究、保存管理等を行った。	4	資料の保管・調査研究を概ね順調に進められた。		文化財課 (歴史資料館ほか)
151	III	3	(2)	菊池寛及びその作品から学ぶ「寛学」事業	市	郷士の偉大な作家「菊池寛」の作品に親しみ、先人の生き方に学ぶとともに、自己の生き方を考える「寛学」を実施する。	郷士の偉大な作家「菊池寛」の作品に親しみ、先人の生き方に学ぶとともに、自己の生き方を考える「寛学」を実施する。	郷士の偉大な作家「菊池寛」の作品に親しみ、先人の生き方に学ぶとともに、自己の生き方を考える「寛学」を実施した。	5	小・中学校全70校で「菊池寛」の生き方に学ぶ図書館コーナーが設置されたり、朝読書の時間に菊池寛の作品を読んだりして親しむことができた。		学校教育課
152	III	3	(2)	資料館資料活用事業	市	歴史資料館等施設での民具等の展示・紹介、出前トーク、学校授業等での教育普及活動(資料活用)を行う。	歴史資料館等施設での民具等の展示・紹介、出前トーク、学校授業等での教育普及活動(資料活用)を行う。	歴史資料館等施設での民具等の展示・紹介、出前トーク、学校授業等での教育普及活動(資料活用)を行った。	5	前年度と比べ出前トーク依頼数が増加し、内容も好評であった。		文化財課 (歴史資料館)
153	III	3	(2)	古文書講座	市	生活に密着した古文書を題材に、年間7回(8月～3月)、古文書を解説し親しむための講座を開催する。	生活に密着した古文書を題材に、年間7回(8月～3月)、古文書を解説し親しむための講座を開催する。	生活に密着した古文書を題材に、年間7回(8月～3月)、古文書を解説し親しむための講座を開催した。	5	前年度と比べ参加者(受講者)が増加し、歴史資料館の人気講座として定着している。		文化財課 (歴史資料館)
154	III	3	(2)	夏休み子ども歴史講座	市	小中学生を対象に、夏休みの自由研究として郷士の歴史をテーマに調査研究ができるよう、夏休み子ども歴史講座を開催する。	小中学生を対象に、夏休みの自由研究として郷士の歴史をテーマに調査研究ができるよう、夏休み子ども歴史講座を開催する。	企画展関連ワークショップ「お神酒天神をつくろう」を夏休み子ども歴史講座として開催し、「お神酒天神」を制作した。	4	ワークショップに併せて、展示室において企画展「たかまつ今昔」の展示説明も良い、好評であった。		文化財課 (歴史資料館)
155	IV	1	(1)	市ホームページによる情報提供	市	生涯学習情報を始め、各種の市政情報を発信するため、市ホームページ「もっと高松」の管理・運営を行う。	生涯学習情報を始め、各種の市政情報を発信するため、市ホームページ「もっと高松」の管理・運営を行う。	本市ホームページ「もっと高松」の管理・運営を行った。	4	生涯学習情報を始め、各種の市政情報を適時適切に掲載できた。		広聴広報課
156	IV	1	(1)	広報たかまつによる情報提供	市	生涯学習情報を始め、各種の市政情報を発信するため、毎月1日・15日に「広報たかまつ」を発行する。	生涯学習情報を始め、各種の市政情報を発信するため、毎月1日・15日に「広報たかまつ」を発行する。	「広報たかまつ」を月2回(1日・15日)発行した。	4	生涯学習情報を始め、各種の市政情報を適時適切に掲載できた。		広聴広報課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系		事業名	実施主体	事業概要	30年度事業内容(計画)	30年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
157	IV	1 (1)	子育て支援総合情報発信事業	市	各種子育て支援情報を集約し、活用しやすい「子育てハンドブック」と最新情報を提供する「子育て支援総合情報サイト」により、積極的な情報提供を図る。	○子育てハンドブック「たかまつらっこ」5,000部増刷(情報修正含む) ○子育て支援総合情報サイトの情報更新、母子健康手帳交付時に配布するほか子育て支援課窓口、市民相談コーナー、子育て支援事業実施施設などの窓口で配布。 ○「子育て支援総合情報サイト」 らっこネットからのお知らせとして、市役所・民間団体等の子育て家庭向けイベント等を掲載。 ○ひとり親サポートハンドブック(3,000部)の発行とひとり親ウェブサイトの運営	○子育てハンドブック「たかまつらっこ」5,000部増刷(情報修正含む) ○子育て支援総合情報サイトの情報更新、母子健康手帳交付時に配布するほか子育て支援課窓口、市民相談コーナー、子育て支援事業実施施設などの窓口で配布。 ○「子育て支援総合情報サイト」 らっこネットからのお知らせとして、市役所・民間団体等の子育て家庭向けイベント等を掲載。 ○ひとり親サポートハンドブック(3,000部)の発行とひとり親ウェブサイトの運営	5	昨年度同様、ハンドブックの発行と子育て支援総合情報サイト「らっこネット」及びひとり親ウェブサイトの運営管理を行い、総合的な情報提供が図られた。		子育て支援課
158	IV	1 (1)	公共施設利用総合情報システム事業	市	学校体育施設開放事業、市スポーツ施設の利用者登録・予約管理および利用者への各種情報提供を行う。	市スポーツ施設の利用者登録・予約管理、学校体育施設開放事業及び利用者への各種情報提供を行う。	市スポーツ施設の利用者登録・予約管理、学校体育施設開放事業及び利用者への各種情報提供を行う。	5	問題なく行えた。		スポーツ振興課
159	IV	1 (1)	子ども向けホームページ「きつずの森」情報発信事業	市	市内で開催される子ども向け行事や子どもの学習に関する情報を、子ども向けホームページ「きつずの森」にて発信する。	子ども向けホームページ「きつずの森」への掲載(広報たかまつ、児童館イベント情報、他課でのイベントなどから抜粋)	子ども向けホームページ「きつずの森」への掲載について、広報たかまつ、他課でのイベントなどから抜粋し、随時更新した。	5	幅広くイベントの抜粋をし、内容豊富な子ども向けイベントの掲載ができた。		生涯学習課
160	IV I	1 5 (2)	コミュニティセンターだよりの発行(生涯学習関連)	コミュニティ協議会	各コミュニティセンターで発行している「コミュニティセンターだより」において、コミュニティセンター等で開催する講座・行事等の学習情報のほか、地域の学校関係情報など多彩な情報を紹介する。	各コミュニティセンターで発行している「コミュニティセンターだより」において、コミュニティセンター等で開催する講座・行事等の学習情報のほか、地域の学校関係情報など多彩な情報を紹介する。	各コミュニティセンターで発行している「コミュニティセンターだより」において、コミュニティセンター等で開催する講座・行事等の学習情報のほか、地域の学校関係情報など多彩な情報を紹介した。	5	計画どおり実施した。		生涯学習センター
161	IV	1 (1)	まなびCANだより「まなびかんづめ」の発行	市	生涯学習センターで開催される講座等の学習情報を紹介する情報紙「まなびかんづめ」を毎月発行する。	生涯学習センターで開催される講座等の学習情報を紹介する情報紙「まなびかんづめ」を毎月発行し、39か所に配布する。	生涯学習センターで開催される講座等の学習情報を紹介する情報紙「まなびかんづめ」を毎月発行し、39か所に配布した。	5	計画どおり実施した。		生涯学習センター
162	IV	1 (2)	地域コミュニティ協議会情報発信事業	市	市民・地域コミュニティ協議会・行政が双方から情報収集・発信、ネットワーク形成できる情報拠点として、ポータルサイト「コミねっと高校」を運営する。	引き続き、地域情報の情報拠点として活用していく。また、より実効性のある事業とするため、30年度中にホームページの見直しを行う。	地域の情報収集、発信、ネットワーク形成できる情報拠点として、運営をした。HPの見直しに関しては、30年度での実施はしていない。	3	地域コミュニティ協議会からの情報発信によりネットワーク形成できる情報拠点として活用する事ができた。		コミュニティ推進課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	30年度事業内容(計画)	30年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してください)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業について原因及び今後の対策について	課名
	IV	I	(2)									
163	IV	I	(2)	市民活動センター情報発信事業	市	市民活動センターホームページ「ふらっと高松」において、NPO等団体の情報を収集・発信する。	引き続き、市民活動センター機能の一つである「情報収集・発信」に取り組み、市民活動団体の支援の充実を図る。	ホームページ「ふらっと高松」、メールマガジン、フェイスブック及び機関誌「コロボたかまつ」等を活用し、情報発信を行うことができた。また、ケーブルテレビ「コミュニティチャンネル」に市民活動団体活動紹介チャンネルを設け、市民活動に取り組み市民自らが出演し、効果的な活動紹介を行うことができた。 このほか、NPO法人との連携強化のため、本市が所轄庁となるNPO法人とのネットワークづくりに役立つ情報発信を行う取組を開始した。	4	各種情報媒体を活用し、適宜、市民及び市民活動団体等に情報発信を行うことで、団体の活動支援及び活動紹介等に効果をあげた。		男女共同参画・協働推進課
164	IV	I	(2)	まなびCANホームページ情報発信事業	市	まなびCANのホームページで講座の募集情報・施設情報・お知らせ・インターネット塾など各種生涯学習情報を発信する。	まなびCANのホームページで講座の募集情報・施設情報・お知らせ・インターネット塾など各種生涯学習情報を発信する。	まなびCANのホームページで講座の募集情報・施設情報・お知らせ・インターネット塾など各種生涯学習情報を発信した。	5	計画どおり実施した。		生涯学習センター
165	IV	I	(3)	ホームページ等の人材情報提供	市	市民の学習活動を支援するため、人材や講座・学習資料など豊富で新しい学習情報の収集・提供を図る。	市民の学習活動を支援するため、人材や講座・学習資料など豊富で新しい学習情報の収集・提供を図る。	市民の学習活動を支援するため、人材や講座・学習資料など豊富で新しい学習情報の収集・提供を図った。	4	計画どおり実施した。		生涯学習センター
166	IV	I	(3)	レファレンスサービス	市	図書館所蔵の資料等を調べ、利用者からの問合せ調査の回答や学習に必要な資料の紹介を行う。	所蔵の資料等を調べて、利用者から問合せのあった調査の回答や学習に必要な資料を紹介する。	所蔵の資料等を調べて、利用者からの問合せのあった調査の回答や学習に必要な資料を紹介した。	5	利用者からの問合せ・調査は概ね回答できた。		中央図書館
167	IV	I	(1) (2)	コミュニティセンター等パソコン講習会	市	生涯学習センターやコミュニティセンター等でパソコン講習会を開催し、情報通信の知識や技術・マナー等、情報活用能力の向上、新しい情報メディアの活用を推進する。	生涯学習センターやコミュニティセンター等でパソコン講習会を開催し、情報通信の知識や技術・マナー等、情報活用能力の向上、新しい情報メディアの活用を推進する。	生涯学習センターやコミュニティセンター等でパソコン講習会を開催し、情報通信の知識や技術・マナー等、情報活用能力の向上、新しい情報メディアの活用を推進した。	5	計画どおり実施した。		生涯学習センター
168	IV	I	(1)	情報モラル等指導支援事業	市内小中学校	すべての小中学校において教員の情報モラル研修及び学級担任による情報モラル教育を支援する。	未成年者の携帯電話やインターネット利用に係るトラブルの解決に資するとともに、保護者啓発をより一層推進するために保護者対象の情報モラル安全教室を開催する。小中学校教職員を対象に、情報モラル教育研修会を開催し、情報モラルに係る教員の指導力を図る。	情報モラル教育をより一層推進するために、全ての小中学校から1名指定し、情報モラル教育研修会を開催した。 ・68名参加 ・内容 ①情報モラルに係る小・中学生の実態と課題 ②ネットトラブルの現状 講師：香川県警サイバー犯罪対策室 ③情報モラル教育の授業づくり 講師：東洋英和女学院大学教授	4	参加者の満足度が、3.7(満点4.0)であったため。		総合教育センター

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	30年度事業内容(計画)	30年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してください)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業について原因及び今後の対策について	課名
169	IV	2	(2)	まなびCAN、Eメールサービス	市	広報たかまつの発行に併せて、希望者のパソコン・携帯電話にEメールにより、生涯学習センター講座情報等を配信する。	広報たかまつの発行に併せて、希望者のパソコン・携帯電話にEメールにより、生涯学習センター講座情報等を配信し、登録者数500人を目指す。	広報たかまつの発行に併せて、希望者のパソコン・携帯電話にEメールにより、生涯学習センター講座情報等を配信し、登録者数298人だった。	3	登録者数が目標に達しなかった。		生涯学習センター
170	IV	2	(2)	まなびCANインターネット塾	市	生涯学習センターで開催された新規講座や講演等の内容要旨や講座風景などの情報をホームページで公開する。	生涯学習センターで開催された新規講座や講演等の内容要旨や講座風景などの情報をホームページで3講座公開する。	生涯学習センターで開催された新規講座や講演等の内容要旨や講座風景などの情報をホームページで4講座公開した。	5	計画どおり実施した。		生涯学習センター
171	IV III	2 3	(2) (1)	収蔵品システム運営事業	市	高松市収蔵品情報システムにより、歴史資料館等(讃岐国分寺跡資料館・香南歴史民俗郷土館・石の民俗資料館・菊池寛記念館・埋蔵文化財センター・美術館・塩江美術館・塩江美術館・平和記念館)の収蔵品のデータ管理、インターネットでの情報公開を行う。	高松市収蔵品情報システムにより、歴史資料館等(讃岐国分寺跡資料館・香南歴史民俗郷土館・石の民俗資料館・菊池寛記念館・埋蔵文化財センター・美術館・塩江美術館)の収蔵品のデータ管理、インターネットでの情報公開を行う。	高松市収蔵品情報システムにより、歴史資料館等の収蔵品のデータ管理、インターネットでの情報公開を行った。	4	前年度と比べ収蔵品システム登録件数が減少したが、積極的な未整理資料の整理・登録に努めた。		文化財課 (歴史資料館ほか)
172	IV	2	(2)	図書館のインターネット予約サービス	市	図書館利用者カードの所有者を対象に、図書館ホームページからインターネット蔵書予約等を行う。	図書館利用者カードの所有者に、高松市図書館ホームページからインターネット蔵書予約、貸出・蔵書予約確認(貸出延長・予約変更・取消)ができるよう維持・整備を図る。	図書館利用者カードの所有者に、高松市図書館ホームページからインターネット蔵書予約、貸出・蔵書予約確認(貸出延長・予約変更・取消)ができるよう維持・整備を図った。	5	予約件数は、ほぼ目標を達成した。		中央図書館
173	IV	2	(2)	新しいメディアの活用	市	「メルマガもつと高松」への行事等の登録(市民への情報配信)	生涯学習課主催・共催等の行事を「メルマガもつと高松」へ登録し、月2回の情報配信をする。	生涯学習課主催及び共催事業等の行事、また事業のスタッフ募集等の情報配信を行った。	4	必要な情報を発信することができた。		関係各課